

令和3年3月30日
中部地方整備局

令和3年度中部地方整備局関係予算の概要について

配分総額：7,534億円

(ポイント)

- ① 国民の安全・安心の確保のため、防災・減災、国土強靱化の取り組みを計画的に推進
- ② ウィズコロナにおける持続的な経済成長に向け、生産性の向上や国際競争力の強化を推進
- ③ 豊かで活力ある地方を創るため、賑わいを創出する空間の利活用及び良好な環境整備を推進

1. 添付資料

令和3年度中部地方整備局関係予算の概要

なお中部地方整備局HPにも掲載されております。

<https://www.cbr.mlit.go.jp/guidance/yosan/R3.htm>

2. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、名古屋港記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重県第二県政記者クラブ、飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブ、伊那記者クラブ、塩尻桔梗ヶ原記者クラブ、山梨県政記者クラブ、富士吉田市政記者クラブ

3. 問合せ先 国土交通省

中部地方整備局

< 総括 >	企画課	長	三國谷 隆伸	電話	052-953-8127
	会計課	長	高口 洋幸	電話	052-953-8136
< 公園関係 >	都市整備課	長	鈴木 克章	電話	052-953-8573
< 住宅関係 >	住宅整備課	長	歌代 純平	電話	052-953-8574
< 河川関係 >	河川計画課	長	池原 貴一	電話	052-953-8148
< 道路関係 >	道路計画課	長	大西 宵平	電話	052-953-8168
< 港湾関係 >	港湾計画課	長	福田 浩司	電話	052-209-6321
< 海岸関係 >	河川計画課	長	池原 貴一	電話	052-953-8148
	港湾計画課	長	福田 浩司	電話	052-209-6321
< 官庁営繕関係 >	計画課	長	西村 研二	電話	052-953-8185

令和3年度 中部地方整備局関係予算の概要



令和3年3月

国土交通省中部地方整備局

令和3年度 中部地方整備局関係予算の概要

目 次

1. 令和3年度中部地方整備局関係予算の基本方針 . . . P. 1
 2. 令和3年度中部地方整備局関係予算の配分額 . . . P. 5
 3. 実施事例
 - 3-1. 実施事例（位置図） . . . P. 6
 - 3-2. 整備事例（個表） . . . P. 7
 - 3-3. 施策事例（個表） . . . P. 55
 4. 県別の整備箇所事例一覧 . . . P. 56
- （参考資料）
- 令和3年度の道路調査の見通しについて . . . P. 61

1. 令和3年度中部地方整備局関係予算の基本方針

1) 配分方針

令和3年度国土交通省関係予算については、「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「豊かで活力ある地方の形成と多核連携型の国づくり」を3本柱として、令和2年度第3次補正予算と合わせて切れ目なく取組を進め、施策効果の早期発現を図ります。

中部地方整備局としては、人々が安全に安心して暮らせる中部を築き、中部圏経済の持続的な成長のため、人々の暮らしや、国際競争力強化を支える基礎となるインフラ整備・国土強靱化等の取り組みを強力に推進するため、以下の項目に重点をおいて予算を配分します。

- ① 国民の安全・安心の確保のため、防災・減災、国土強靱化の取り組みを計画的に推進
- ② ウイズコロナにおける持続的な経済成長に向け、生産性の向上や国際競争力の強化を推進
- ③ 豊かで活力ある地方を創るため、賑わいを創出する空間の利活用及び良好な環境整備を推進

※令和3年度予算については、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等、15か月予算の考え方の下、令和2年度第3次補正予算と合わせて取組を実施

①国民の安全・安心の確保のため、防災・減災、国土強靱化の取り組みを計画的に推進

気候変動の影響により激甚化・頻発化する風水害や切迫する地震災害等に屈しない、強靱な国土づくりのため、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の推進、将来を見据えた戦略的なインフラ老朽化対策、サプライチェーン等を強化する交通ネットワーク整備等に取り組み、防災・減災が主流となる安全・安心な社会を構築します。

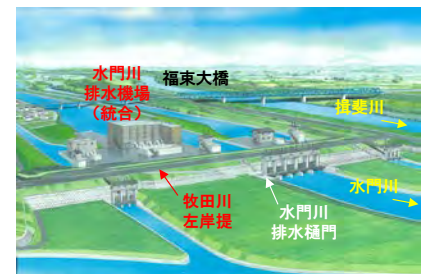
■庄内川では、気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市町等が一体となって、狭窄部下流の名古屋市街地等をまもる河道掘削を実施するとともに、狭窄部対策として県道枇杷島橋の架け替えに着手するなど、流域治水を推進します。

■長良川では、国・県・市が連携し、長良川遊水地の整備に向け、美濃市横越地区において整備に着手するとともに、関市池尻地区において調査・検討を実施します。

■牧田川では、国・県・大垣市が連携し、水門川の内水安全度の向上を図るため、排水機場の更新、堤防強化など、木曽川上流特定構造物改築事業（新水門川排水機場）に着手します。

■大井川の焼津市、吉田町の2か所では、災害時には災害復旧活動の拠点となり、平常時には地域の人々の交流の場として活用する、河川防災ステーションが完成する予定です。

■ダム再生のモデルケースとなる新丸山ダムでは、治水安全度の向上に向け、本体工事を推進するとともに、引き続き、付替道路工事等を推進します。



木曽川上流特定構造物改築事業(イメージ図)



新丸山ダム建設事業(イメージ図)

■設楽ダムでは、治水安全度の向上及び安定的な水の供給に向け、付替道路工事などを推進するとともに、引き続き、本体工事（基礎掘削）を推進します。

■天竜川 中流 地区では、近年の豪雨増加傾向や南海トラフ地震の発生懸念により地すべり発生リスクが高まっているため、引き続き、地すべり対策を推進します。



天竜川中流地区地すべり対策事業

■国土強靱化に資する高規格道路のミッシングリンクを解消し、地域の防災機能強化を図ることで、国民の安全・安心を確保するため、国道42号熊野尾鷲道路(Ⅱ期)、熊野道路、紀宝熊野道路の整備を推進します。

■近年の災害の激甚化・頻発化を踏まえて、強靱で信頼性の高い高規格道路ネットワークを構築し、災害時の代替機能を発揮する伊豆 縦貫 自動車道の整備を推進します。

■急傾斜地の崩壊・落石等の危険箇所などの防災課題箇所を回避し、利用者の安全・安心を確保するため、国道19号 桜沢 改良の整備を推進します。



国道 42 号熊野尾鷲道路(Ⅱ期)
津波浸水想定区域を回避



国道 414 号河津下田道路(Ⅱ期)
河津 IC 付近



国道 19 号桜沢改良
R3 年秋頃開通に向け工事推進

■道路施設（橋梁、トンネル、道路附属物、舗装等）の老朽化に対し、定期点検等により確認された修繕が必要な道路施設の対策を推進します。



【対策事例】床版コンクリートひび割れ

■大規模地震による落橋・倒壊の防止に加え、路面に大きな段差が生じないように、橋梁の耐震対策を推進します。



【対策事例】橋梁の耐震補強

■津波浸水リスクの高いゼロメートル地帯における木曾三川の河口部においては、地震・津波対策として、引き続き、河川堤防の耐震対策を推進します。

■駿河海岸では、総合的な津波・高潮対策として、引き続き、「粘り強い構造の海岸堤防」の整備を推進します。



駿河海岸
直轄海岸保全施設整備事業



津松阪港海岸
直轄海岸保全施設整備事業

■津松阪港海岸では背後の生命と財産を守るため、伊勢湾台風を契機に整備された既存海岸堤防の老朽化対策及び耐震対策を推進します。

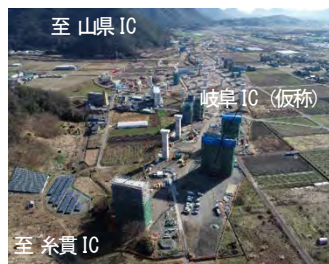
■三河港神野地区岸壁では経年劣化が進行しているため、将来にわたり港湾施設としての機能を発揮できるように老朽化対策を推進します。

■既存庁舎の耐震性能不足や老朽化による機能の不具合解消を図るとともに、地域と連携し、大規模災害時に地域の防災拠点となる名古屋第4地方合同庁舎の整備を進めます。

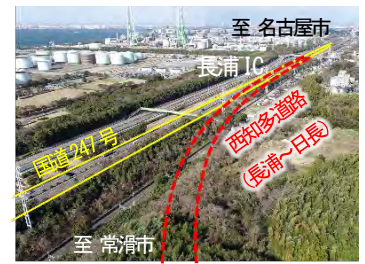
②ウイズコロナにおける持続的な経済成長に向け、生産性の向上や国際競争力の強化を推進

ウイズコロナにおける感染症拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら、持続的な経済成長に向け、デジタル改革やグリーン社会の実現、生産性の向上や国際競争力の強化に取り組みます。

■迅速かつ円滑な物流・人流を確保し、サプライチェーンの強靱化や物流の生産性向上に資する東海環状自動車道のR8年度までの全線開通を目指し整備を推進します。



東海環状自動車道



西知多道路（長浦～日長）

■中部国際空港と伊勢湾岸自動車道を結び広域的な道路ネットワークを形成す

るとともに、信頼性の高いダブルネットワークを構築し、安全で確実な物流を支援する国道247号西知多道路（長浦～日長）を、権限代行事業として新たに事業化します。

■由比地区においては、豪雨や南海トラフ地震の発生等に伴う地すべりにより、幹線交通が分断され人命救助や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが想定されるため、地すべり対策を推進します。



由比地区地すべり対策事業

■ものづくり産業を支える物流機能や生産性の向上、国際競争力強化を図るため、清水港新興津地区及び四日市港霞ヶ浦地区を新たに事業化するとともに、名古屋港飛島ふ頭地区、金城ふ頭地区の港湾機能の強化を推進します。



名古屋港ふ頭再編整備事業
(飛島ふ頭地区、金城ふ頭地区)



清水港新興津地区
国際物流ターミナル整備事業



四日市港霞ヶ浦地区
国際物流ターミナル整備事業

③豊かで活力ある地方を創るため、賑わいを創出する空間の利活用及び良好な環境整備を推進

豊かで活力ある地方を創るため、良好な環境や景観等を備えた、持続可能で賑わいのある地域、魅力ある地域づくりを促進します。

■伊豆の国市神島地区水辺整備(狩野川)では、オフロード自転車コースなどを民間事業者によって整備・運営すると共に、国と伊豆の国市が連携して広場や休憩施設等の整備などに着手します。

■近鉄四日市駅における新たな交通結節点として、3箇所に分散している路線バス・高速バスの乗降場を集約し、歩行者の円滑な移動・乗換を支援する国道1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業を新たに事業化します。

■観光資源を有機的に連携するサイクルツーリズムの推進として、太平洋岸自転車道の走行・受入環境の整備充実を推進するとともに、都市部においても安全で快適な自転車利用環境の創出を推進します。



マウンテンバイク体験講習
(伊豆の国市神島地区水辺整備)



近鉄四日市駅前(中央通り)の状況
(国道1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業)



太平洋岸自転車道
国道42号(三重県熊野市)

■安全で安心な移動空間を確保するため、幹線道路の事故多発箇所において、『事故ゼロプラン』を推進するとともに、子供の移動経路における安全対策を推進します。



【整備事例】国道42号 未就学児対策

■道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光の観点から、無電柱化を推進します。

■清水港日の出地区において、インバウンドの再開を見据え、クルーズ船の受入環境整備を推進します。



【整備事例】国道1号 中吉田電線共同溝

<中部地方整備局関係予算の配分額>

配分事業費	7, 534億円						
内 訳	<table border="0"> <tr> <td>歳出：</td> <td>直轄</td> <td>2, 980億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助等</td> <td>4, 554億円</td> </tr> </table>	歳出：	直轄	2, 980億円		補助等	4, 554億円
歳出：		直轄	2, 980億円				
	補助等	4, 554億円					
国庫債務負担行為(ゼロ国債)	144億円						
内 訳	<table border="0"> <tr> <td>歳出：</td> <td>直轄</td> <td>142億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助等</td> <td>2億円</td> </tr> </table>	歳出：	直轄	142億円		補助等	2億円
歳出：		直轄	142億円				
	補助等	2億円					

(注)計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

2. 令和3年度中部地方整備局関係予算の配分額

(1) 事業別配分額【直轄】

(単位:百万円)

区 分	R3年度				R2年度		
	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計	国庫債務負担行為 (ゼロ国債)	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計
治 水	62,040	18,658	80,697	6,822	68,770	17,661	86,431
海 岸	3,829	0	3,829	870	3,763	0	3,763
道 路	129,439	61,423	190,862	5,482	124,488	64,648	189,136
港 湾	18,799	0	18,799	940	19,428	0	19,428
都市水環境 整 備	203	811	1,014	103	558	873	1,431
国営公園等	2,023	0	2,023	0	2,195	0	2,195
官庁営繕	0	816	816	0	736	778	1,514
合 計	216,333	81,707	298,040	14,217	219,938	83,960	303,898

(2) 事業別配分額【補助等】

(単位:百万円)

区 分	R3年度				R2年度		
	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計	国庫債務負担行為 (ゼロ国債)	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計
治 水	20,622	0	20,622	0	16,598	0	16,598
海 岸	1,068	0	1,068	0	553	0	553
道 路	82,915	0	82,915	0	80,824	0	80,824
港 湾	3,197	0	3,197	200	3,023	0	3,023
空港整備	432	0	432	0	179	0	179
住宅対策	0	13,741	13,741	0	3,322	11,149	14,471
市街地整備	26,680	0	26,680	0	26,966	0	26,966
下水道	8,443	3,378	11,821	0	9,580	2,459	12,039
社会資本整備 総合交付金	147,742	0	147,742	0	176,759	0	176,759
防災・安全 交 付 金	147,072	0	147,072	0	149,055	0	149,055
推進費等	101	0	101	0	0	0	0
合 計	438,271	17,119	455,390	200	466,858	13,608	480,466

(3) 補助事業等の県別配分額

(単位:百万円)

県	R3年度				R2年度		
	補助	交付金	計	国庫債務負担行為 (ゼロ国債)	補助	交付金	計
岐阜県	33,079	40,367	73,446	0	27,989	49,586	77,574
静岡県	38,894	70,768	109,662	0	35,481	79,796	115,278
愛知県	68,039	137,207	205,247	200	73,624	149,054	222,677
三重県	20,564	46,471	67,035	0	17,559	47,378	64,937
合 計	160,577	294,813	455,390	200	154,652	325,814	480,466

(注1)数字は、事業費ベースです。

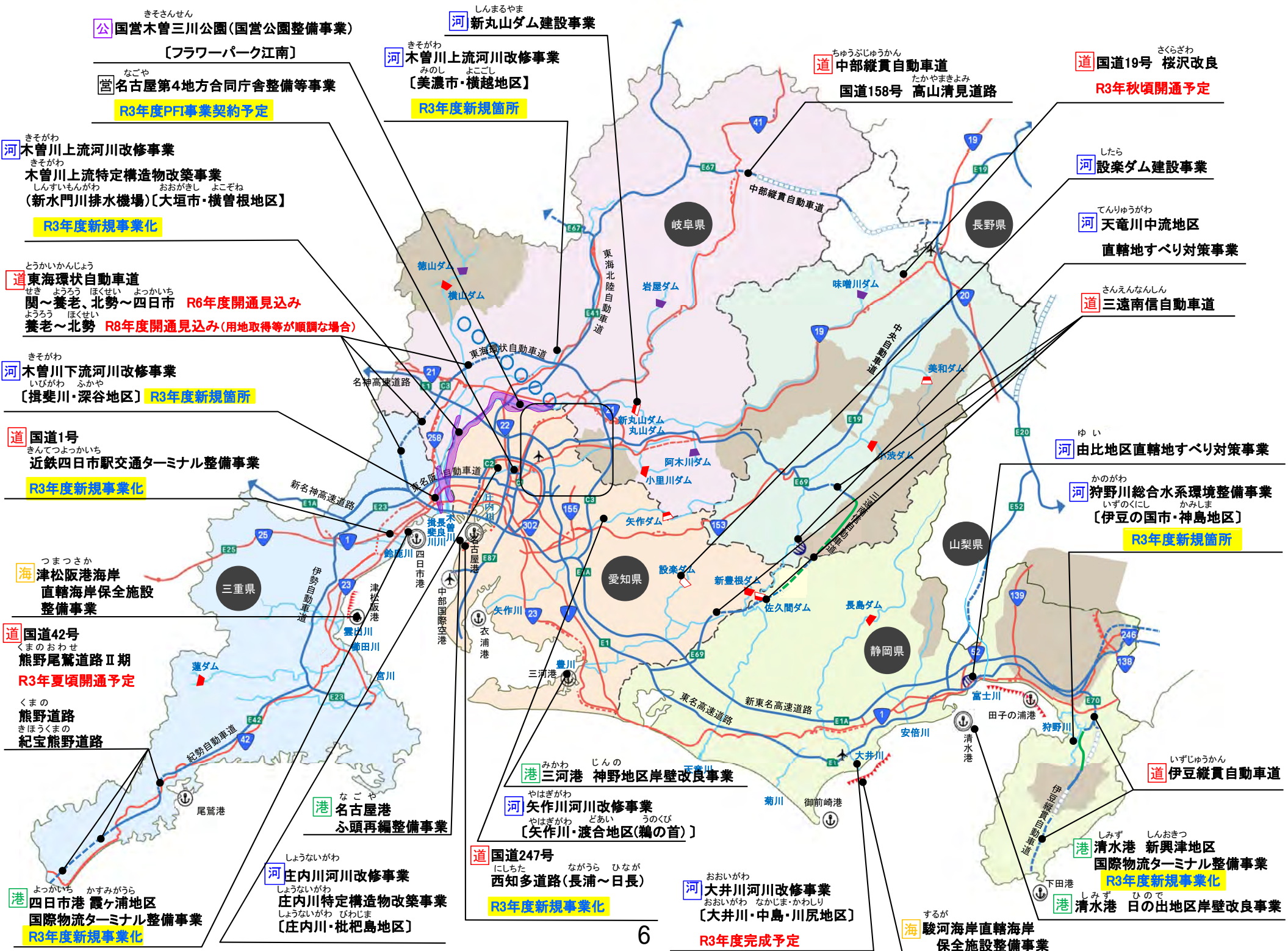
(注2)国庫債務負担行為(ゼロ国債)は、本省配分と一括配分の合計です。

(注3)計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。

(注4)本省が全国的な観点から事業執行の判断を要するものは本省配分、中央省庁等改革基本法に基づき地方支分部局に配分権限を委任したものを一括配分としています。

(注5)当資料の次ページ以降に記載している完成予定、開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合があります。

(注6)R2年度は、「防災・減災国土強靱化のための3か年緊急対策」を含みません。



公 国営木曾三川公園(国営公園整備事業)
きそさんせん

河 新丸山ダム建設事業
しんまるやま

【フラワーパーク江南】

河 木曾川上流河川改修事業
きそがわ
 【美濃市・横越地区】
R3年度新規箇所

道 中部縦貫自動車道
ちゅうぶじゅうかん
 国道158号 高山清見道路
R3年秋頃開通予定

道 国道19号 桜沢改良
さくらざわ
R3年秋頃開通予定

宮 名古屋第4地方合同庁舎整備等事業
なごや
R3年度PFI事業契約予定

河 木曾川上流河川改修事業
きそがわ
 木曾川上流特定構造物改築事業
しんすいもんがわ おおがき よこそね
 (新水門川排水機場)【大垣市・横曽根地区】
R3年度新規事業化

河 設楽ダム建設事業
したら

河 天竜川中流地区
てんりゅうがわ
 直轄地すべり対策事業

道 東海環状自動車道
とうかいかんじょう
 関～養老、北勢～四日市 **R6年度開通見込み**
 養老～北勢 **R8年度開通見込み(用地取得等が順調な場合)**

道 三遠南信自動車道
さんえんなんしん

河 木曾川下流河川改修事業
きそがわ
 【揖斐川・深谷地区】 **R3年度新規箇所**

道 国道1号
きんてつよっかいち
 近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業
R3年度新規事業化

河 由比地区直轄地すべり対策事業
ゆい

海 津松阪港海岸
つまつさか
 直轄海岸保全施設整備事業

河 狩野川総合水系環境整備事業
かのがわ
 いずのくにし かみしま
 【伊豆の国市・神島地区】
R3年度新規箇所

道 国道42号
くまのおおせ
 熊野尾鷲道路Ⅱ期
R3年夏頃開通予定

道 熊野道路
くまの
 紀宝熊野道路

港 四日市港 霞ヶ浦地区
よつかいち かすみがうら
 国際物流ターミナル整備事業
R3年度新規事業化

河 庄内川河川改修事業
しょうないがわ
 庄内川特定構造物改築事業
しょうないがわ
 【庄内川・枇杷島地区】

港 三河港 神野地区岸壁改良事業
みかわ
じんの

河 矢作川河川改修事業
やはぎがわ
 【矢作川・渡合地区(鵜の首)】

道 国道247号
にしちた ながうら ひなが
 西知多道路(長浦～日長)
R3年度新規事業化

河 大井川河川改修事業
おおいがわ
 【大井川・中島・川尻地区】
R3年度完成予定

道 伊豆縦貫自動車道
いずじゅうかん

港 清水港 新興津地区
しみず しんおきつ
 国際物流ターミナル整備事業
R3年度新規事業化

港 清水港 日の出地区岸壁改良事業
しみず ひので

海 駿河海岸直轄海岸
するが
 保全施設整備事業

きそがわ
木曽川上流河川改修事業

きそがわ
木曽川上流特定構造物改築事業[横曽根地区]

きそがわ
(木曽川水系)

令和3年度当初:31.5億円
(岐阜県分:29.2億円、愛知県分2.3億円)

1. 事業の必要性及び概要

新・旧水門川排水機場が位置する牧田川左岸堤防は、計画堤防断面に対して現況堤防の断面及び高さが不足しています。また、そこに整備されている複数の排水機場は、老朽化が著しく、出水時に機能停止すれば、広範囲で浸水被害の発生が想定されます。

そのため、排水機場の更新、堤防強化を実施し、治水安全度の向上を図ります。

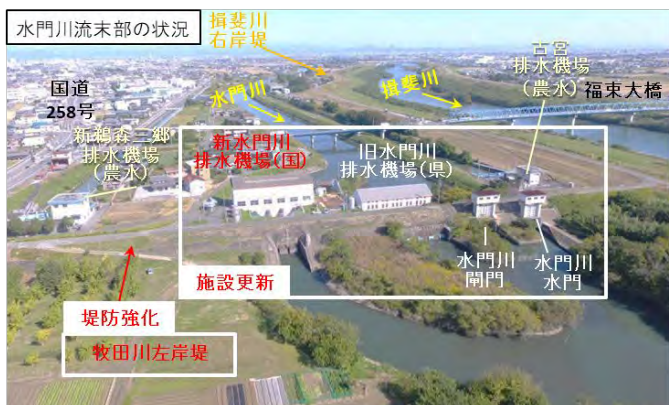
2. 事業箇所

おおがきし
岐阜県大垣市

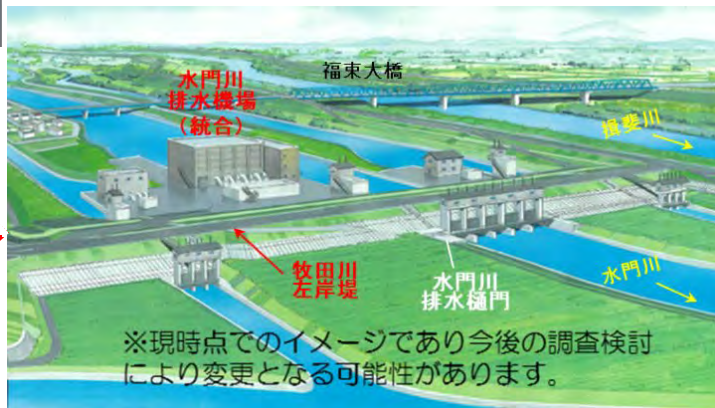


3. 令和3年度実施予定内容及び現在の実施状況

令和3年度より、用地取得に新規着手します。
(木曽川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場)新規事業化)



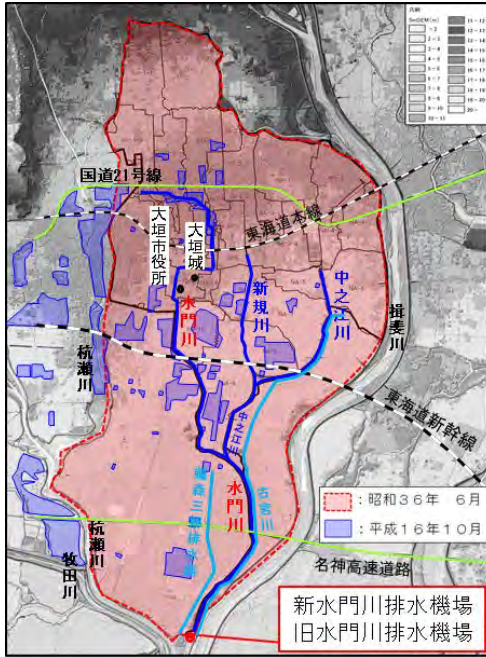
排水機場(統合案)イメージ図



4. 整備効果

○重点:防災・減災、国土強靱化の取り組みを計画的に推進

- 昭和36年6月洪水をはじめ、近年(平成16年10月、平成25年9月)の洪水においても、水門川流域で大規模な浸水被害が発生しています。



出典:「岐阜県提供資料」

◆浸水実績図

(昭和36年6月洪水, 平成16年10月洪水)



出典:「一級河川木曾川水系 牧田川圏域河川整備計画(付属資料・治水計画編) 水門川治水計画、岐阜県」

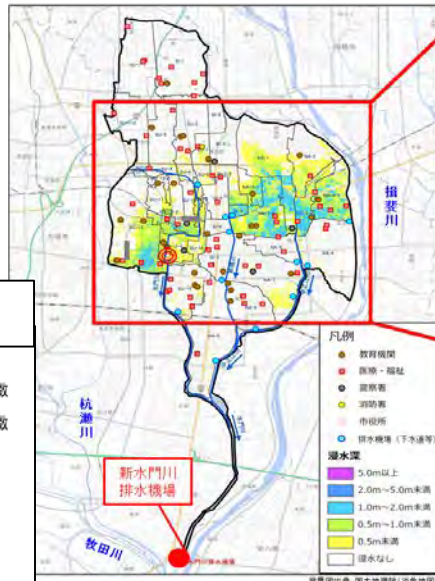
◆水門川(八島地区)の浸水状況(平成16年10月洪水)



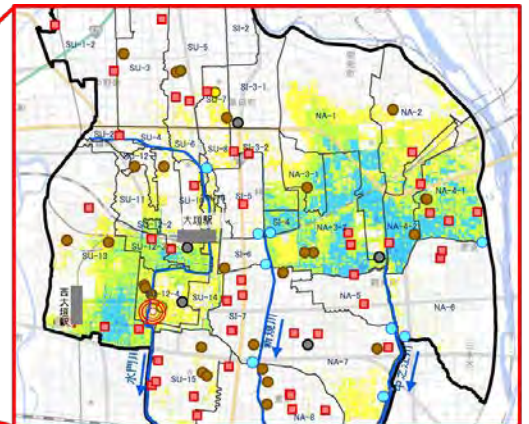
◆牧田川、杭瀬川、揖斐川の出水状況(平成16年10月洪水)

- 昭和36年6月洪水と同規模の洪水が発生した場合、浸水世帯数約7,100世帯の被害が想定されます。
- 本事業により、昭和36年6月洪水と同規模の洪水が発生した場合、浸水世帯数約400世帯に減少し、床上浸水被害が解消されます。

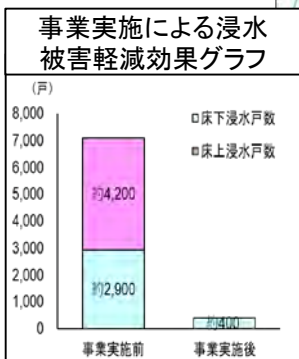
昭和36年6月洪水と同規模の洪水が発生した場合に想定される浸水区域及び重要施設位置



資料提供: 国土地理院(浸水地図)



岐阜県下水道事業(排水ポンプ)監修済み



木曽川上流河川改修事業[横越地区] (木曽川水系)

令和3年度当初:31.5億円 (岐阜県分:29.2億円、愛知県分2.3億円)

1. 事業の必要性及び概要

平成16年10月洪水では、直轄管理区間上流(岐阜県管理区間)で広範囲の浸水被害が発生しました。長良川において、戦後最大規模の洪水[平成16年(2004)10月洪水]を安全に流下させるため、長良川遊水地事業に着手し、治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

岐阜県美濃市



3. 令和3年度実施予定内容及び現在の実施状況

令和3年度より、横越地区の用地取得に新規着手します。関市池尻地区については、調査検討を進めます。(長良川遊水地事業)



遊水地整備箇所

4. 整備効果

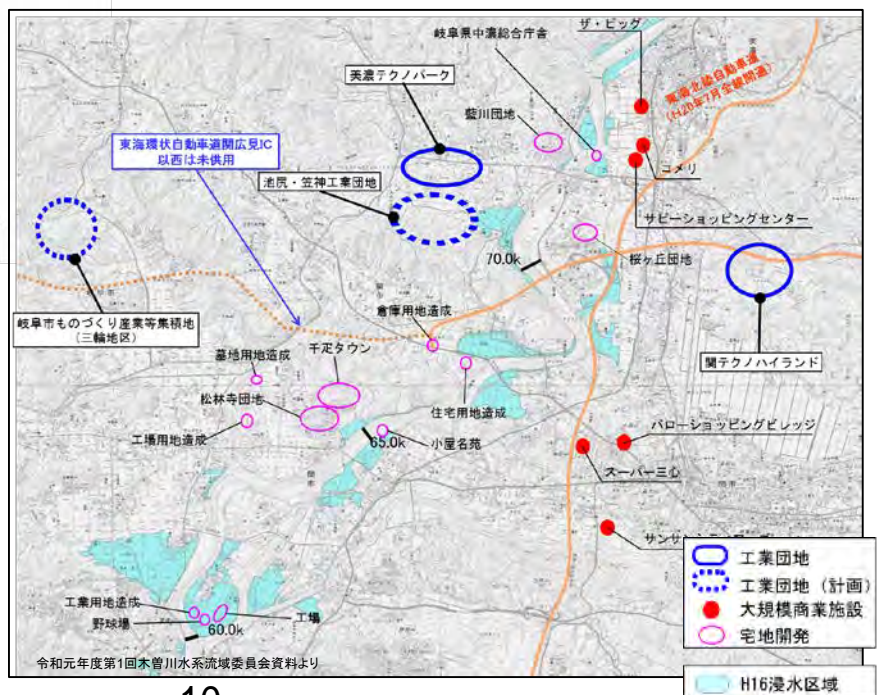
○重点:防災・減災、国土強靱化の取り組みを計画的に推進

- 平成16年10月洪水では、直轄管理区間上流(岐阜県管理区間)で広範囲の浸水被害が発生しました。
- 平成20年7月に東海北陸自動車道が全線開通するなど、長良川中流部での開発が進むとともに、背後資産および人口についても近年増加傾向にある一方、水害を軽減する自然遊水機能が減少しています。
- 長良川において、戦後最大規模の洪水[平成16年(2004)10月洪水]を安全に流下させるため、美濃市横越地区、関市池尻地区において、洪水調節として遊水地を整備します。

平成16年10月洪水（指定区間）

被害状況(直轄管理区間上流端～板取川合流点)

浸水面積:461ha
被災家屋:床上浸水218戸
床下浸水142戸
半壊家屋 8戸



※

しんまるやま
新丸山ダム建設事業

令和3年度当初:109.8億円

1. 事業の必要性及び概要

木曾川は我が国有数の大河川であり、流域には約235万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤となっています。一方、下流部は、我が国最大のゼロメートル地帯であり、ひとたび災害等が発生した場合には、被害は甚大となります。

そのため、本事業では既設丸山ダムの堤体を嵩上げし、洪水調節機能を強化することにより、木曾川中下流部の洪水氾濫から人々の暮らしを守るとともに、流水の正常な機能の維持及び発電を行います。

2. 事業箇所

右岸:岐阜県加茂郡八百津町
左岸:岐阜県可児郡御高町
(木曾川水系木曾川)



3. 令和3年度実施予定内容及び現在の実施状況

ダム本体工事及び付替道路工事等を推進します。

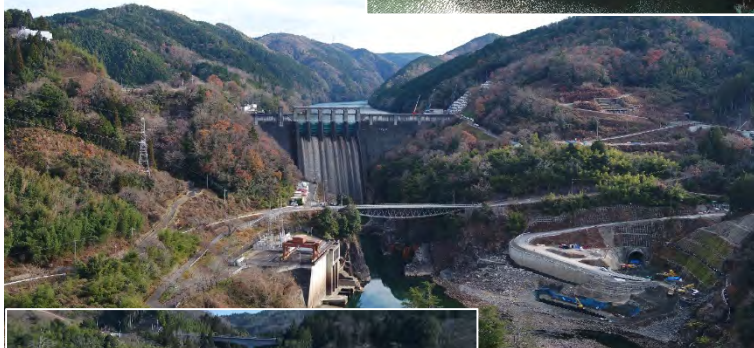


新丸山ダム完成予想図

転流工呑口部施工状況



新丸山ダム本体付近施工状況



転流工吐口部施工状況



付替道路418号(潮見地区)6号橋

4. 整備効果

○重点:防災・減災、国土強靱化の取り組みを計画的に推進

昭和58年9月の台風10号及び秋雨前線による戦後最大洪水が越水したことにより、美濃加茂市及び坂祝町、可児市などで甚大な被害が発生。新丸山ダムの整備と合わせ河川改修することにより、同規模の洪水を安全に流下させることが可能となります。

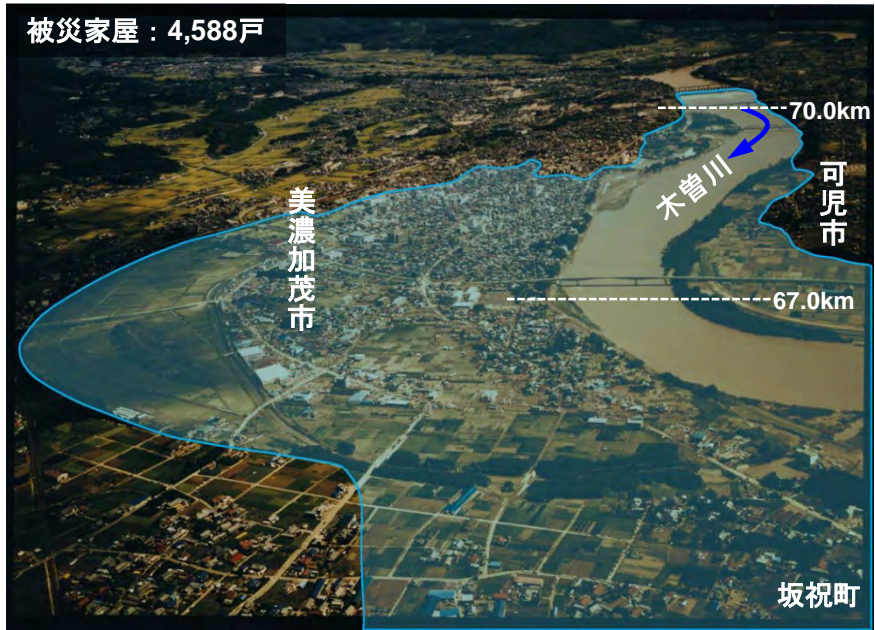


写真1:軒下まで浸水した家屋



写真2:消防団員により救出される被災者

昭和58年9月洪水での浸水範囲

付替道路により八百津町市街地～恵那市飯地地区間の移動時間の大幅な短縮となります。

県道篠原八百津線・県道恵那八百津線経由：約75分

付替国道418号(丸山バイパス)経由：約35分

また、社会インフラを活用した地域振興の取組として、付替道路事業として建設した「新旅足橋」で八百津町が必要な許可を受け、運営会社がバンジー・ジャンプ開始しています。



とうかいかんじょう
国道475号 東海環状自動車道
 ちゅうぶじゅうかん たかやまきよみ
国道158号 中部縦貫自動車道 高山清見道路

令和3年度当初【東海環状自動車道】：334.1億円
 【岐阜県分】：270.5億円
 【高山清見道路】：23.9億円

1. 事業の必要性及び概要

- 東海環状自動車道は、地域活性化・地域開発の支援を目的とした名古屋圏の環状道路を形成する延長約153kmの高規格道路です。
- 高山清見道路は、高速アクセス性の向上（観光の周遊性向上）や並行する国道158号の交通渋滞の緩和、救急医療活動の支援等を目的に計画された延長24.7kmの高規格道路です。



2. 事業箇所

- 東海環状自動車道：愛知県豊田市～三重県四日市市
- 高山清見道路：岐阜県高山市清見町～高山市丹生川町

3. 令和3年度事業予定内容及び現在の実施状況

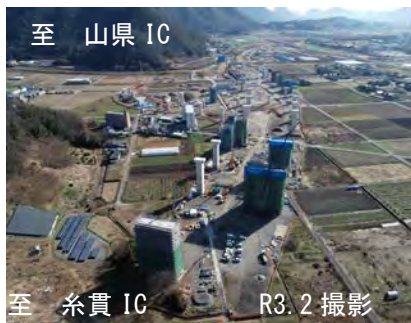
■ 東海環状自動車道

【関～養老（延長44.2km）】 【養老～北勢（延長18.0kmのうち岐阜県9.0km）】

- 山県IC～大野神戸IC間（延長18.5km）の橋梁工事、トンネル工事等を推進。
《令和6年度開通見込み※1》
※1：財投活用による整備加速箇所※2
- ※2：このほかに、土岐JCT～美濃加茂IC間の速度低下箇所に付加車線を設置
- 養老IC～北勢IC(仮称)間（延長18.0km）の改良工事、橋梁工事等を推進。（岐阜県）
《令和8年度開通見込み※3》
※3：用地取得等が順調な場合

■ 高山清見道路（延長24.7km）

- 高山IC～丹生川IC(仮称)間（延長9.5km）の用地買収、橋梁工事等を推進。



至 山県 IC R3.2 撮影



至 北勢 至 養老 R3.2 撮影



至 丹生川 IC R3.3 撮影

令和6年度開通に向け工事が進む
東海環状自動車道 岐阜IC付近

令和8年度開通に向け工事が進む
東海環状自動車道 海津PA付近

中部縦貫自動車道
高山清見道路 下切高架橋付近

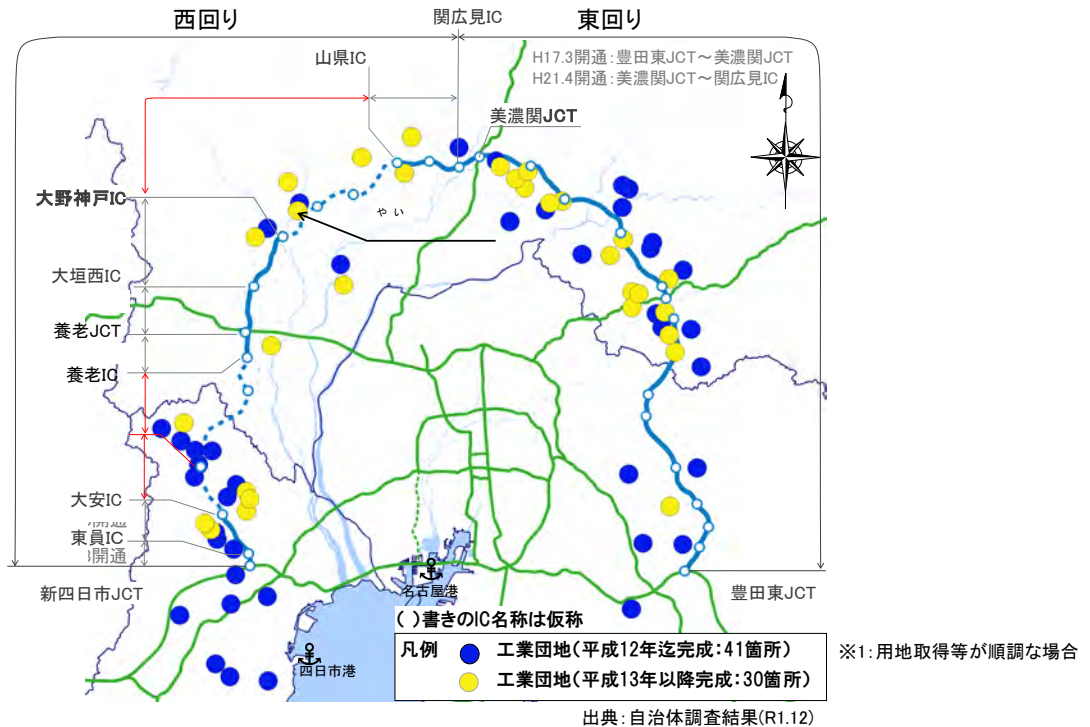
4. 整備効果

➤ ○重点：力強く持続的な経済成長の実現・・・企業立地の促進

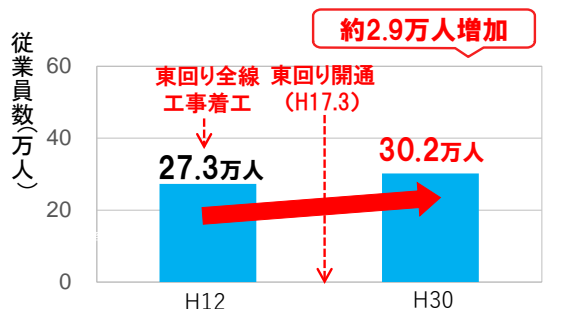
民需誘発！沿線自治体の経済の好循環を促し、沿線地域の産業振興を支援！

- 東海環状自動車道が民間需要を喚起し、沿線地域の従業者数は**約2.9万人増加**、製造品出荷額等は**約1.7倍増加**。西回り沿線の屋井工業団地では**開通見通し公表後、完売**。
- 沿線市町の法人税収は**約165億円増加**し、伸びは**全国平均を上回る**。

■東海環状自動車道沿線に分布する工業団地



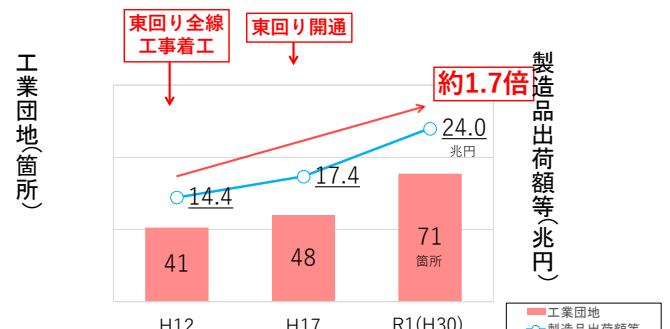
■沿線市町の製造業従業者数の変化



・沿線自治体:東海環状自動車道が通過する市町(東回り:8市4町、西回り:7市4町)

出典:経済産業省「工業統計」

■工業団地と製造品出荷額等の推移



・沿線自治体:東海環状自動車道が通過する市町(東回り:8市4町、西回り:7市4町)
 ・(H30)の製造品出荷額等はH30年実績

出典:【工業団地】「自治体調査結果」(R1.12時点)、【製造品出荷額等】経済産業省「工業統計」

■開通見通し公表後完売した屋井工業団地



■沿線市町の法人税収の推移



・法人税収:市町村民税の法人税割と法人均等割の和
 ・沿線自治体:東海環状自動車道が通過する市町(東回り:8市4町、西回り:7市4町)

出典:総務省「地方財政状況調査」

きそさんせん
国営木曾三川公園（国営公園整備事業）

令和3年度当初 : 7.9億円
(岐阜県分: 3.8億円、愛知県分: 3.1億円、三重県分: 1.0億円)

1. 事業の必要性及び概要

本公園は、東海地方の広域的レクリエーション需要に対応するため、木曾三川（木曾川、長良川、揖斐川）が有する広大なオープンスペースを活用して設置した国営公園です。

昭和55年度から事業着手し、昭和62年10月に木曾三川公園センターを一部供用開始して以来、平成27年度には部分開園を含む13拠点の全てを開園し、令和3年1月に、桑名七里の渡し公園の住吉地区を追加供用することにより、住吉地区が全面供用となるなど順次整備エリアを拡げ、令和3年3月31日現在、開園面積は約290haとなっています。近年の年間入園者は、約1,000万人であり、全国の国営公園の中で入場者数が一番多い公園です。今後、未供用区域の整備を進め追加供用することにより、さらなる利用促進を図ります。



令和3年度は、フラワーパーク江南の管理施設整備を始めとして、桜堤サブセンターや桑名七里の渡し公園等において整備を推進し、各拠点の早期完成を目指します。

2. 事業箇所

岐阜県 羽島市 桑原町、愛知県 江南市 小杵町、三重県 桑名市 住吉町 等

3. 令和3年度事業予定内容

- ・桜堤サブセンター 敷地造成に伴う樋管付替整備
- ・フラワーパーク江南 管理施設整備
- ・桑名七里の渡し公園 基本設計・用地取得 等

国営木曾三川公園の主な整備箇所



4. 整備効果

○重点：魅力ある地域づくりの促進・・・賑わいの場の創出

自然環境や歴史・文化への理解の深化

○河川ならではの自然環境に配慮した公園整備を行う事で広域的な水と緑のエコロジカルネットワーク形成に貢献

○水辺に囲まれた公園の立地条件を生かした環境教育プログラムなどを実施し、訪れる人に対しての木曾三川の自然環境・歴史文化の理解の深化に貢献



田舟乗船体験
(アクアワールド水郷パークセンター)



市民団体による砂丘保全活動
(ワイルドネイチャープラザ)



市民団体による自然観察会の開催
(138タワーパーク)

地域活性化と観光振興

○木曾三川公園の新たなエリアの開園へ向けた整備推進や施設の再整備により公園の魅力が向上し、入園者数の増加による公園周辺への波及効果

○地域と連携したイベントの実施により地域の観光振興や賑わいの創出に、また、公園ボランティアの参画を進める事で、地域コミュニティの活性化にも貢献



イルミネーションイベント
(138タワーパーク)



留学生向け海津市 SNS 周遊ツアー
(アクアワールド水郷パークセンター)



第3回灯街道・桑名宿での
灯街道ウォーキング
(桑名七里の渡し公園)

地域における防災・減災の寄与

○沿川自治体の地域防災計画における広域避難地・一次避難地としての活用や当該避難地における防災訓練など、地域の防災・減災機能強化に貢献



防災関連イベント
(フラワーパーク江南)



公園を利用した防災訓練
(東海広場)



関係機関と連携した広域支援基地
設置訓練の実施 (河川環境楽園)

おおいがわ なかじま・かわしり おおいがわ
大井川河川改修事業[中島・川尻地区] (大井川水系)

令和3年度当初:5.3億円

1. 事業の必要性及び概要

大井川における洪水被害を最小限とするため、災害が発生した場合の緊急復旧活動を行う上で必要な緊急用資材の備蓄、駐車場、ヘリポート等のほか、市町が設置する水防センターを配置し、迅速かつ円滑な河川災害復旧活動の拠点となる河川防災ステーションを整備し、治水安全度の向上を図ります。

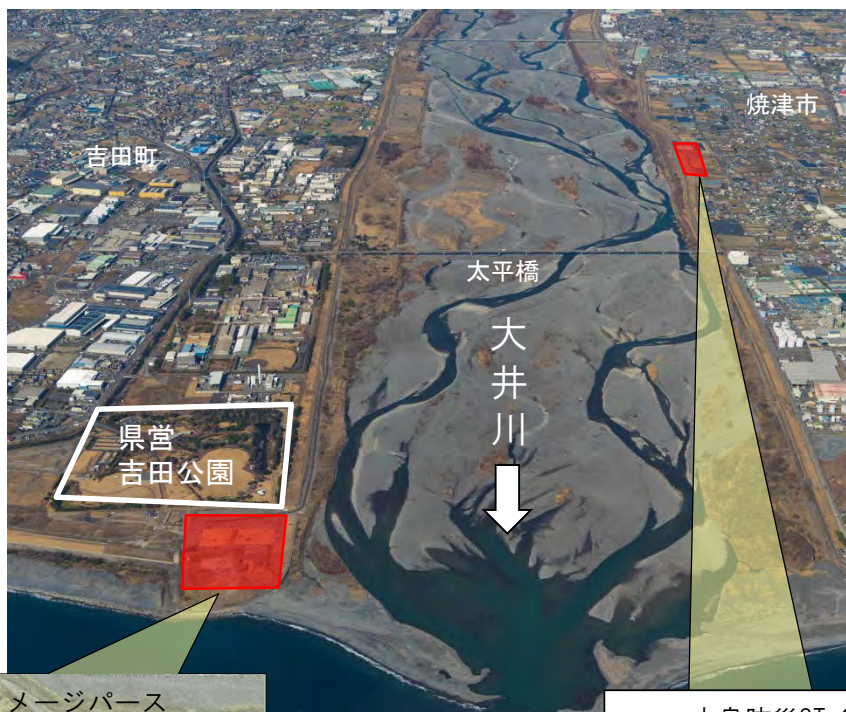
2. 事業箇所

やいづし よしだちよう
 静岡県焼津市、吉田町



3. 令和3年度実施予定内容及び現在の実施状況

河川防災ステーション整備を推進します。(大井川中島・川尻防災ST整備事業)



4. 整備効果

○重点: 防災・減災、国土強靱化の取り組みを計画的に推進

- 急流・土砂河川である大井川は、上・中流部は、川幅が狭く、流速も大きいことから、流木による河道閉塞や河岸侵食などの危険性が高い区間になります。
- 下流部では川幅が広く勾配が緩くなるものの、ひとたび堤防が決壊した場合には、広範囲に浸水が想定され、沿川資産も大きいことから、超過洪水時の被害ポテンシャルが大きい区間になります。



令和2年7月 前線による河岸浸食状況



平成12年9月 秋雨前線による河岸侵食状況



大井川の浸水想定区域図

(想定最大規模)

- 「河川防災ステーション」の整備により、災害時は、もちろん平常時においても、地域の人々のレクリエーションの場として、また河川を中心とした文化活動の拠点となります。



するが
駿河海岸 直轄海岸保全施設整備事業

令和3年度当初:10.8億円

1. 事業の必要性及び概要

駿河海岸は、切迫する南海トラフ巨大地震による最大クラスの津波の第1波が地震発生後に最短2～4分で到達するため、避難に可能な時間が極めて短い地域です。
このため、最大クラスの津波が堤防を乗り越えた場合でも、浸水被害の軽減と避難までの時間を稼ぐ減災機能を発揮する“粘り強い構造の海岸堤防”の整備を実施し、早期に地域の安全性向上を図ります。

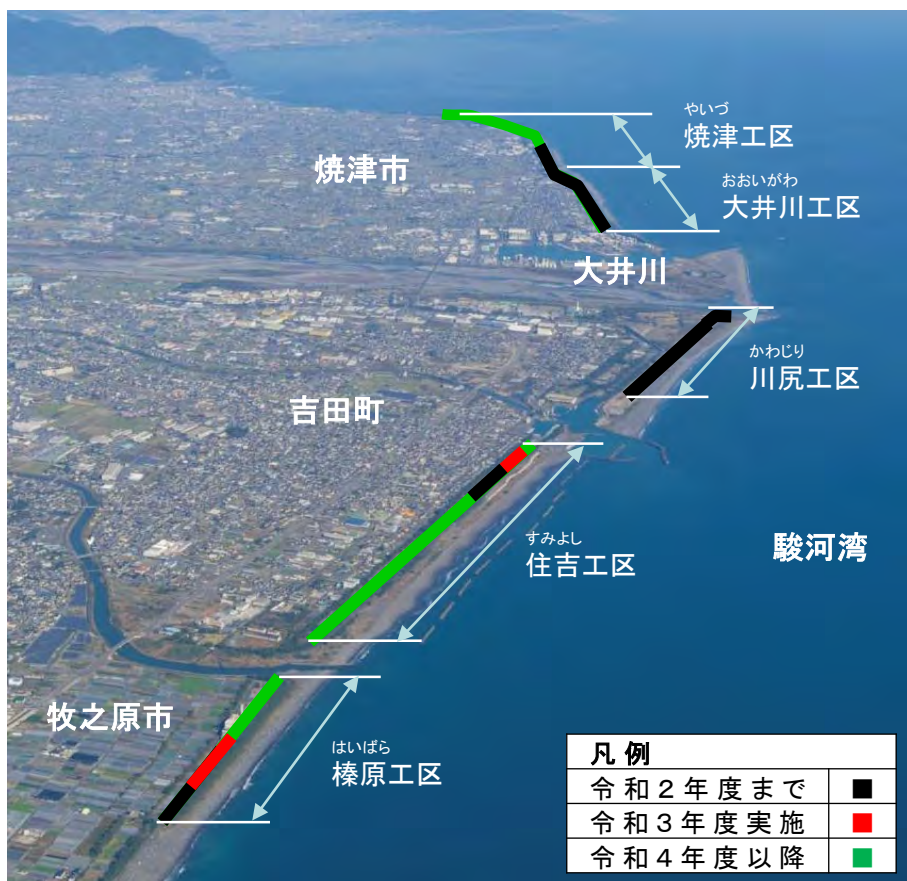
2. 事業箇所

やいづ よしだ まきのほら
静岡県焼津市、吉田町、牧之原市

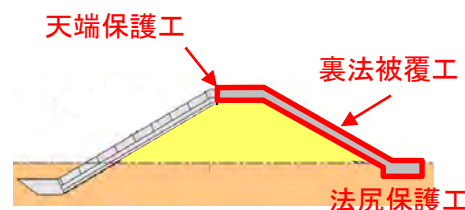


3. 令和3年度実施予定内容及び現在の実施状況

粘り強い構造の海岸堤防の整備を推進します。



粘り強い構造の海岸堤防(焼津市)



粘り強い構造の海岸堤防
構造イメージ図

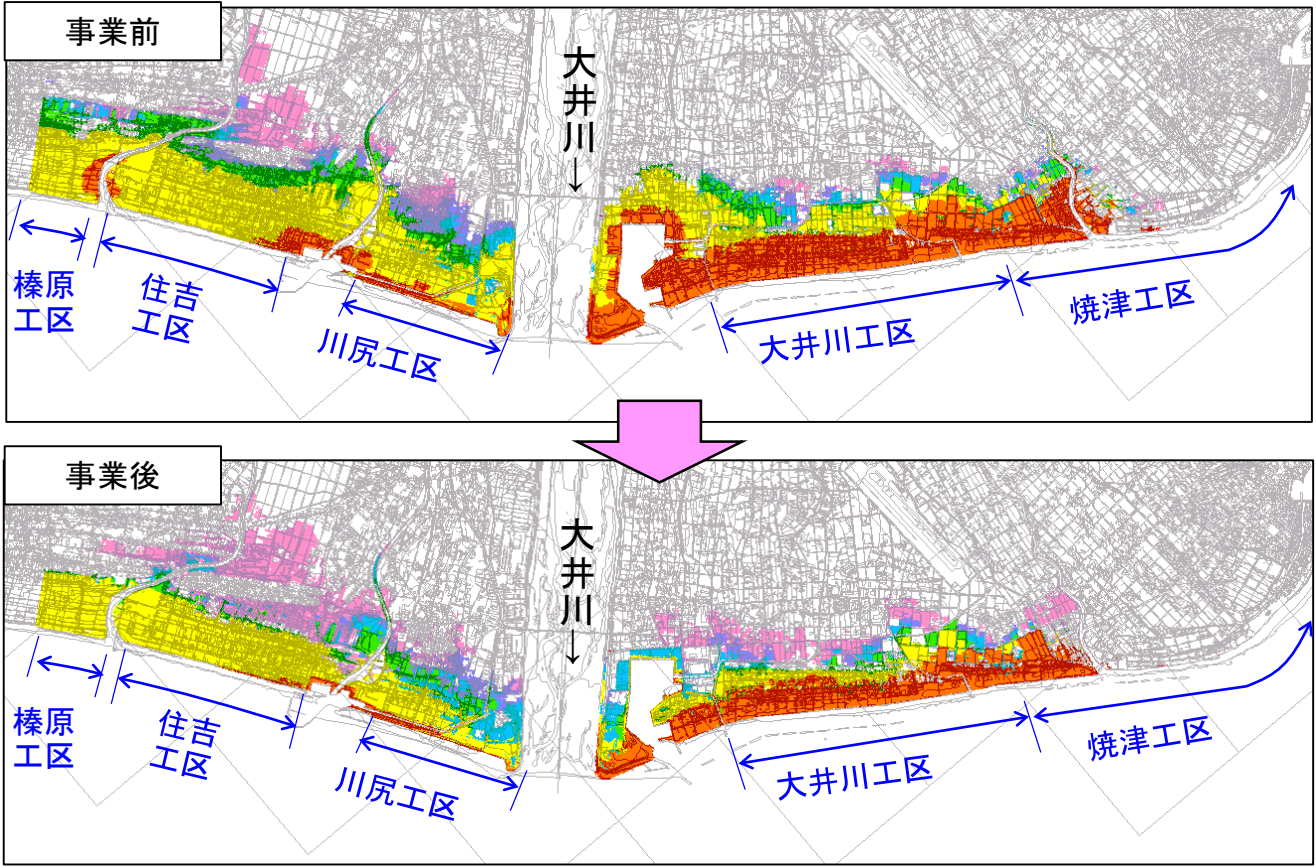
4. 整備効果

○重点: 防災・減災、国土強靱化の取り組みを計画的に推進

駿河海岸における南海トラフ巨大地震の津波による想定被害者数(想定死者数)※は約5,000人と想定されるが、粘り強い構造の海岸堤防を整備することにより、想定被害者数を約5割低減することができます。

※想定死者数は、津波浸水域における滞留者のうち津波が到達する時間(浸水深30cm以上となる)までに浸水区域外、高台や高層階、津波避難施設等への避難が完了できなかったものを津波に巻き込まれたものとして、死亡か負傷かを判定

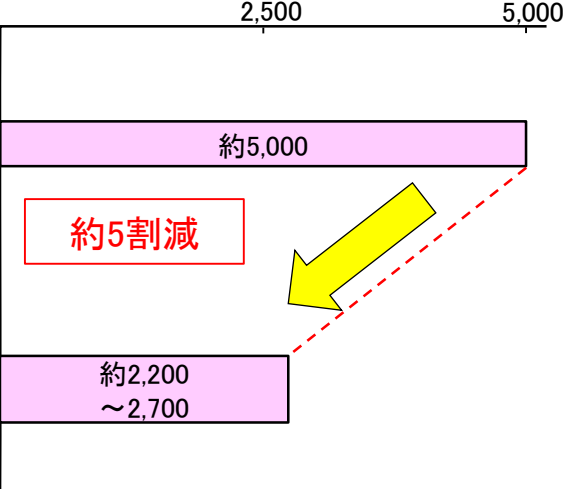
■津波到達時間分布図(浸水深30cm)



■ 5分以内	■ 10分～15分	■ 20分～25分	■ 30分以上
■ 5分～10分	■ 15分～20分	■ 25分～30分	

※被害想定は、津波シミュレーションを用いて焼津工区～榛原工区間のみの被害軽減効果を試算
 ※粘り強い構造の海岸堤防整備により避難時間をさらに3～5分確保できると仮定

■想定被害者数(人) (想定死者数)



“粘り強い構造の海岸堤防”により、最大クラスの津波が堤防を越流した場合でも、堤防の効果が粘り強く発揮し、破堤に至るまでの時間を遅らせることで、浸水被害の軽減や避難のためのリードタイムを長くする効果等が期待されます。

ゆい
由比地区直轄地すべり対策事業

令和3年度当初:19.6億円

1. 事業の必要性及び概要

由比地区には日本の大動脈(東名高速道路、国道1号、JR東海道本線)が集中しており、豪雨や南海トラフ地震の発生等に伴う地すべりにより、幹線交通が分断され人命救助や経済活動に甚大な影響を及ぼすことが想定されるため、地すべり対策を推進します。



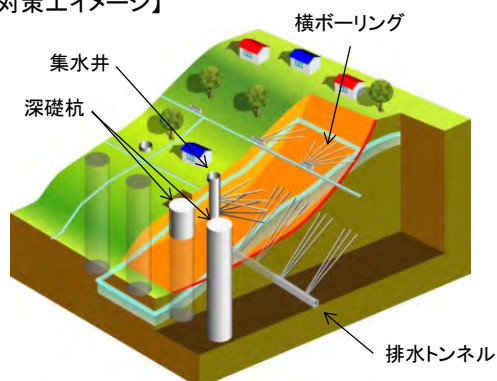
2. 事業箇所

しずおかけん しずおかし しみずく ゆい にしくらさわ
静岡県静岡市清水区由比西倉沢

3. 令和3年度実施予定内容及び現在の実施状況

しんそ
排水トンネル工、深礎工を推進します。

【対策エイメージ】



深礎工



排水トンネル工



地すべりブロック：地すべりとして一体となって動く恐れがある土砂や岩の塊の範囲

地すべりブロック

JR東海道本線

国道1号

東名高速道路

4. 整備効果

○重点:生産性の向上や国際競争力の強化を推進

■由比地区において想定される被害

- 由比地区地すべりの直接被害想定範囲内の施設は地すべり崩落土砂により埋没することが想定されます。
- 国道1号・東名高速道路・JR東海道本線の重要交通網の長期間途絶により、地域はもとより、日本経済全体への影響が懸念されます。
- 地すべり崩落により、多数の人命が失われる可能性があります。

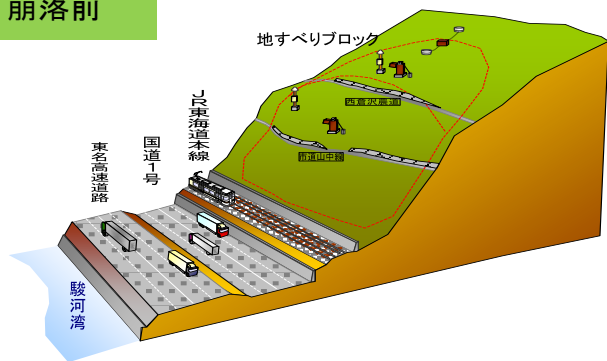


重要交通網(国道1号、JR東海道本線(旅客、貨物))

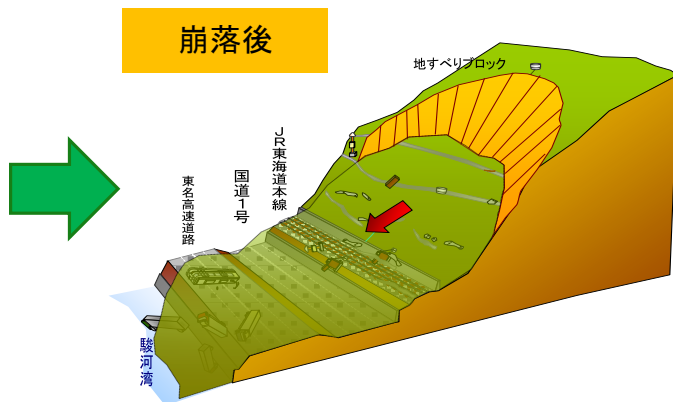
■重要交通網の交通量

交通種別	H27
国道1号 平均交通量	約64,000台/日
東名高速道路 平均交通量	約35,000台/日
JR東海道本線 旅客列車運行本数	上下150本/日

崩落前



崩落後



■災害発生時の影響

地すべりが発生すると、東名高速道路、国道1号、東海道本線が途絶し、迂回ルートに車両が集中するため、交通渋滞が発生し移動時間が増大します



■事業効果

日本経済全体への影響が懸念される国道1号・東名高速道路・JR東海道本線の重要交通網の交通途絶が解消されます。

地すべりの発生を防止することにより、多数の人命が失われることを防止します。

かのがわ いず くにかみしま
狩野川総合水系環境整備事業[伊豆の国市・神島地区 水辺整備]
(狩野川水系)

令和3年度当初:1.4億円

1. 事業の必要性及び概要

かのがわ かみしま いずのくにし
 狩野川神島地区伊豆の国市は、平成10年に伊豆縦貫自動車道の開通や平成30年に隣接「道の駅」がリニューアルされるなど平常時のレクリエーションの場として活用が見込まれる地域である。また、伊豆の国市や民間を構成員とするかわまちづくり協議会から水辺を安全に利用するための基盤整備への期待が高まっています。

このことから、かわまちづくり支援制度登録(R2.3.13)による水辺利用促進をさせることを目的に、国の狩野川改修事業と連携し高水敷整正、管理用通路、階段等の親水エリアの整備を行います。

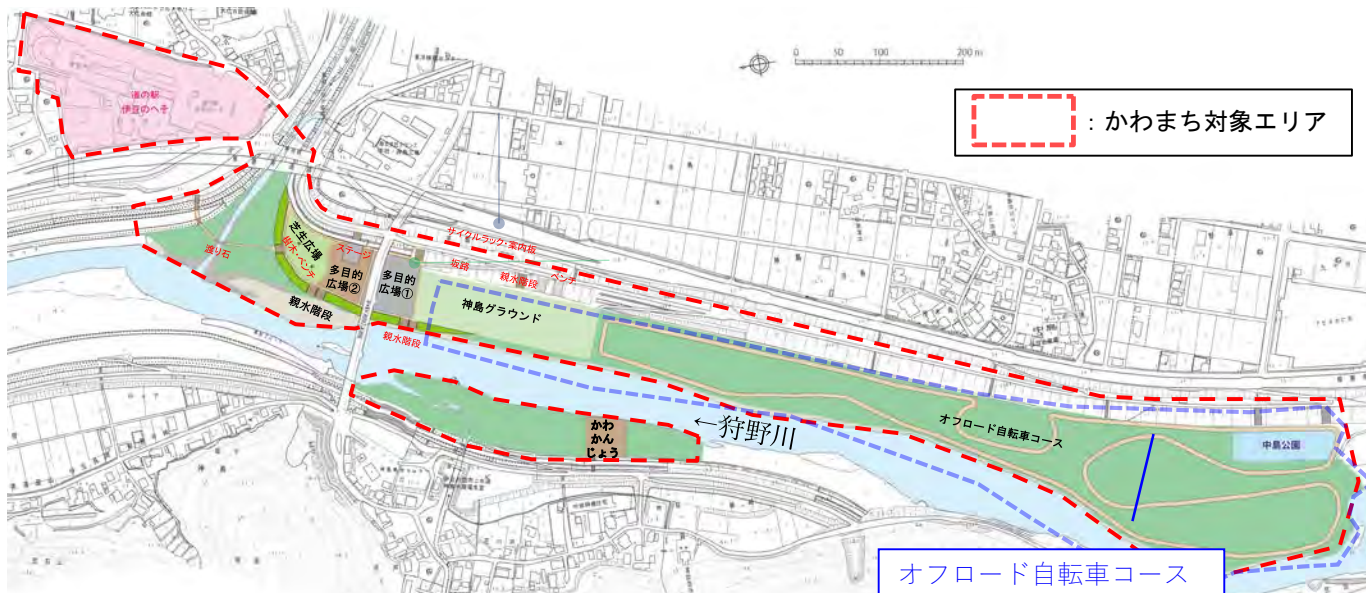
2. 事業箇所
 いずのくにし
 静岡県伊豆の国市



3. 令和3年度実施予定内容及び現在の実施状況
 令和3年度より新規着手(高水敷整正等)します。

■整備イメージ

リニューアルオープンした道の駅伊豆のへそ (H30.11)



4. 整備効果

○重点:③ 賑わいを創出する空間の利活用及び良好な環境整備を推進

まちと水辺が一体となった魅力ある空間の創出

- 河川敷や水辺を安全に利用できるようになることから、親水空間として多くの方の利用が期待されます。
- 狩野川の自然を活かしたかわまちづくり計画に基づく自転車オフロードコースの整備により、隣接した道の駅(伊豆のへそ)と連携したサイクリング拠点として活性化が期待されます。

現在 now



サイクリングが盛んな自然豊かな川沿い



河川敷の状況



神島地区は、ウォーキングやランニング、サイクリングなど多様な形態で利用されており、今後もレクリエーション等の場としての活用が見込まれているが、堤防には階段や坂路が整備されておらず、河川敷には草や樹木が繁茂し、水辺を安全に利用することが出来ない状況にあります。

国と市が連携を図り、賑わいのある水辺空間を創出

将来 future



サイクリングイベント



堤防イメージ

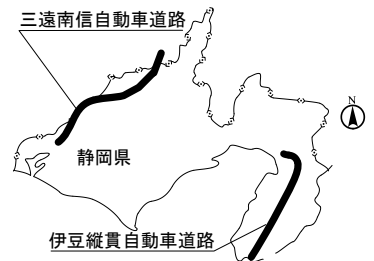
水辺空間の活用イメージ(整備後)

国道1号 国道414号 いずじゅうかん 伊豆縦貫自動車道
 国道474号 さんえんなんしん 三遠南信自動車道

令和3年度当初【伊豆縦貫自動車道】：101.4億円
 【三遠南信自動車道】：162.7億円
 [静岡県分：30.8億円]

1. 事業の必要性及び概要

- 伊豆縦貫自動車道は、伊豆半島部を高速ネットワークで結ぶことにより、観光の活性化などを目的に計画された延長約60kmの高規格道路です。
- 三遠南信自動車道は、中央道、新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格道路です。



2. 事業箇所

- 伊豆縦貫自動車道：静岡県沼津市～静岡県下田市
- 三遠南信自動車道：長野県飯田市～静岡県浜松市

3. 令和3年度事業予定内容及び現在の実施状況

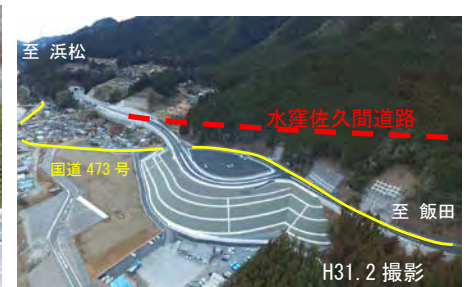
- 伊豆縦貫自動車道 【東駿河湾環状道路（延長15.0km）】 【天城北道路（延長6.7km）】 【河津下田道路（Ⅱ期）（延長6.8km）】 【河津下田道路（Ⅰ期）（延長5.7km）】
 - 河津IC(仮称)～下田IC(仮称)間（延長12.5km）の用地買収、橋梁・トンネル工事等を推進。
- 三遠南信自動車道 【佐久間道路・三遠道路（延長27.9kmのうち静岡県13.4km）】 【水窪佐久間道路（延長14.4km）】 【青崩峠道路（延長5.9kmのうち静岡県2.6km）】
 - 水窪IC(仮称)～佐久間川合IC間（延長14.4km）の関係機関協議、調査設計及び用地調査を推進。
 - 小嵐IC(仮称)～水窪北IC(仮称)間（延長5.9km）のトンネル工事等を推進。



伊豆縦貫自動車道河津下田道路（Ⅱ期）
河津トンネル(仮称)付近



トンネル工事状況（静岡側）
青崩峠道路



佐久間川合ICからの延伸区間
水窪佐久間道路

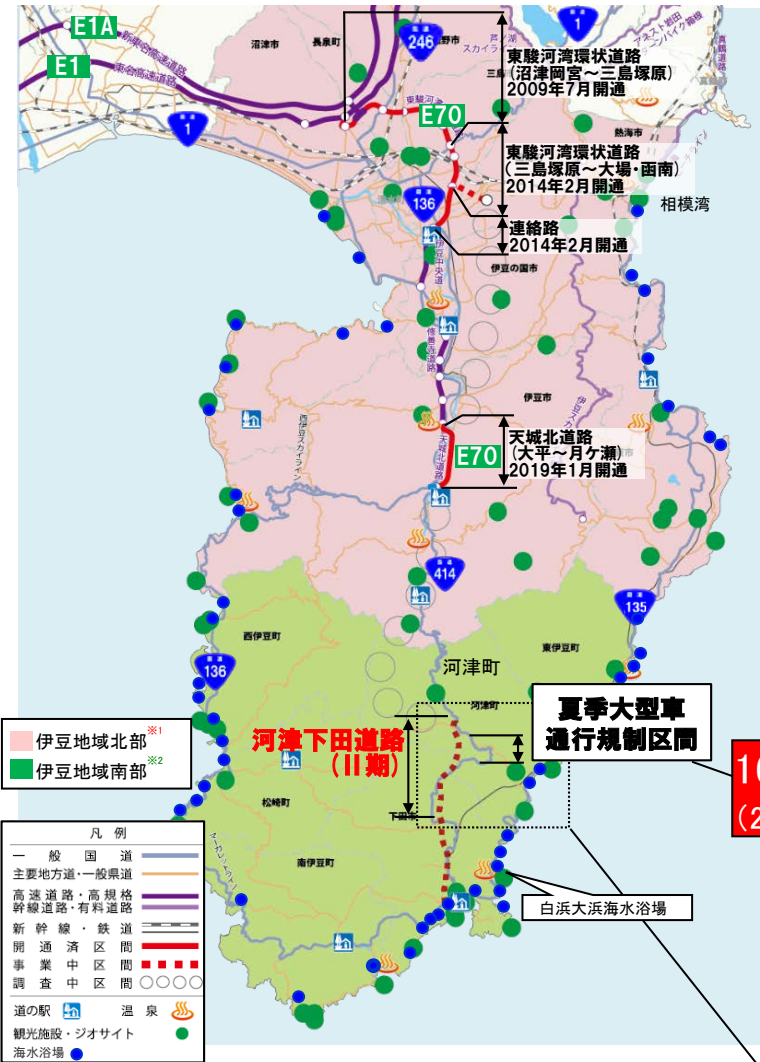
4. 整備効果

○重点：豊かな暮らしの礎となる地域づくり・・・観光振興の推進

道路ネットワーク整備による交通状況改善・経済効果

- 伊豆地域北部の2019年度観光交流客数は、東駿河湾環状道路、天城北道路の開通後、約1.2倍に増加
- 河津下田道路(Ⅱ期)の整備により、夏期大型車通行規制区間の迂回解消と及び時間短縮が図られ、伊豆地域南部の更なる観光振興が期待

■伊豆地域の観光資源と伊豆縦貫自動車道

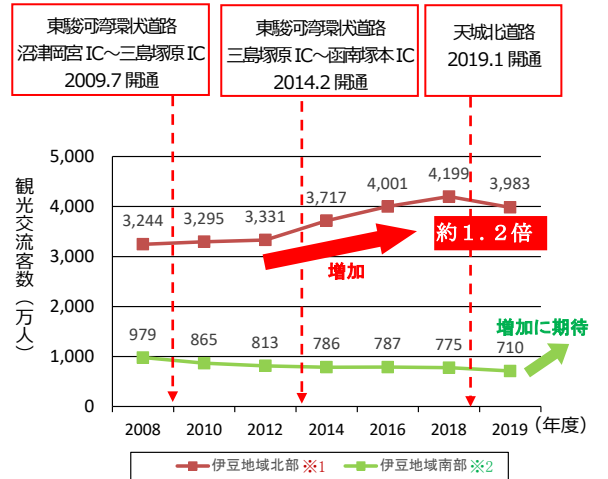


■伊豆地域の観光地

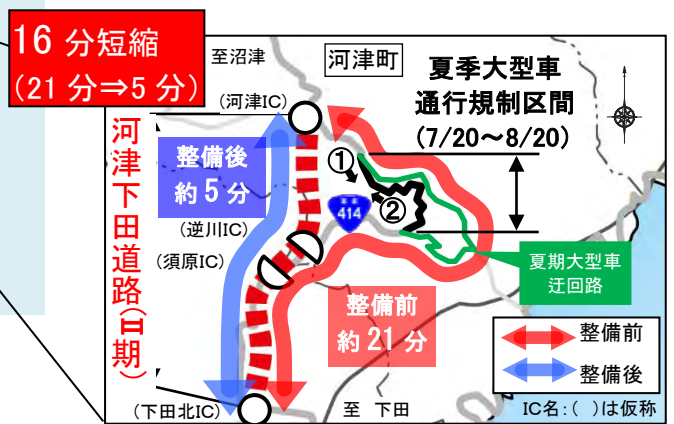


【白浜大浜海水浴場】コロナ渦においてもソーシャルディスタンスを確保し誘客努力

■伊豆地域の観光交流客数



■河津下田道路(Ⅱ期)の整備による所要時間の短縮



整備前：H27年全国道路街路交通情勢調査より算出
整備後：河津下田道路(Ⅱ期)を設計速度(80km/h)として算出

【大型車とのすれ違い状況】

写真①



写真②



しみず しんおきつ
清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業

1. 事業の必要性及び概要

令和3年度当初：2.7億円

多くの製紙工場が背後に立地する清水港は、原材料であるパルプの輸入拠点となっており、パルプの輸入量が増加しています。また、背後圏のコンテナ貨物の取扱拠点となっており、特に東南アジア貨物が増加し、船舶が大型化しています。

一方、大型船が利用できる岸壁が限られており、非効率な輸送を強いられていることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

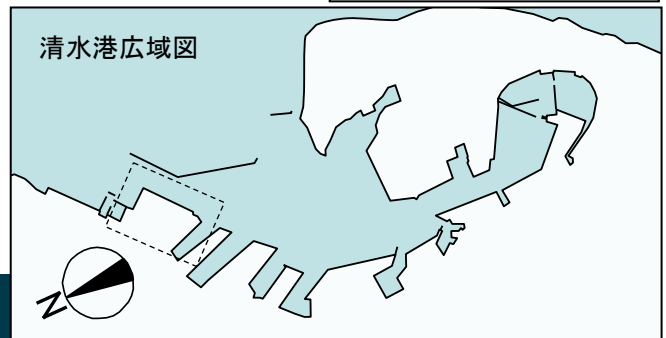
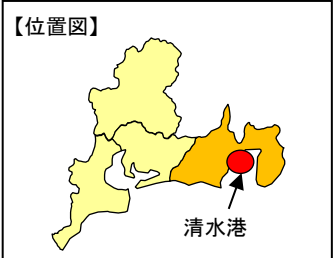
このため、新興津地区において、国際物流ターミナルの整備を行います。

2. 事業箇所

静岡県 静岡市

3. 令和3年度事業予定内容及び現在の実施状況

令和3年度より撤去工等に着手します。



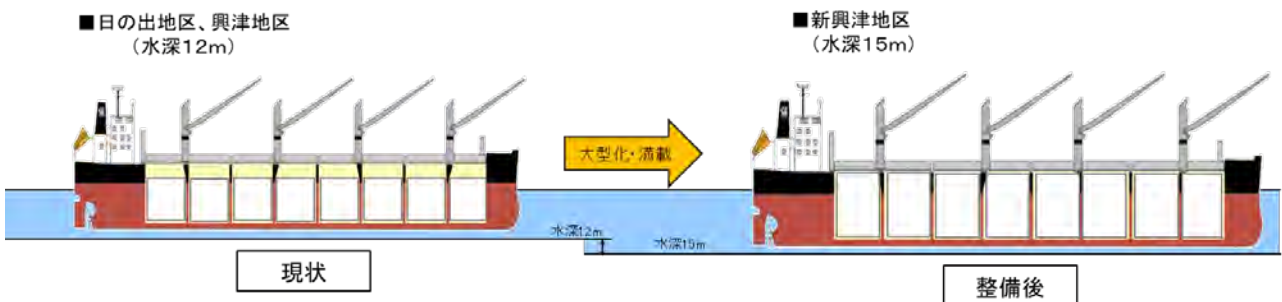
4. 整備効果

○重点：豊かで活力ある地方の形成と多核連携型の国づくり

…地域の基幹産業の競争力強化のための港湾整備

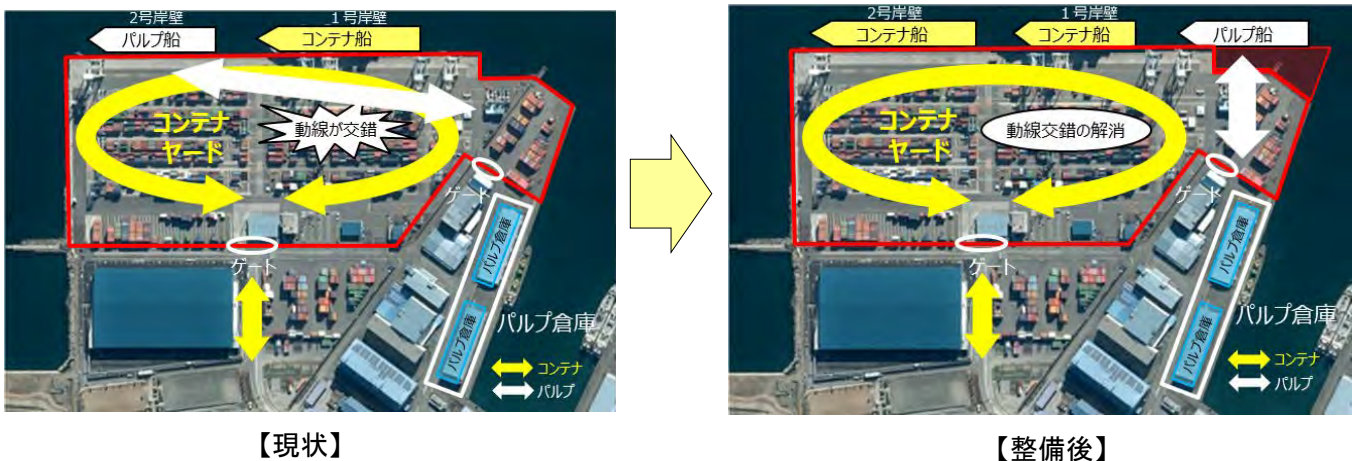
<海上輸送効率化への対応>

大型パルプ船による原産国から清水港への一括大量輸送、清水港を拠点とした全国へのトランシップ（積替）輸送による物流効率化が可能となり、静岡県内の基幹産業である製紙産業の国際競争力の強化、地域経済の活性化を図ります。また、コンテナ貨物の増加、コンテナ船の大型化にも対応可能となります。



<ターミナルの安全性の向上>

整備した岸壁にパルプ船が着岸することで、コンテナ荷役とパルプ荷役の動線の交錯が緩和され、安全かつ効率的な荷役が可能となります。



○重点：国民の安全・安心の確保

…大規模地震災害に対する港湾の防災・減災、国土強靱化の推進

<被災時における社会・経済活動の維持>

耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。

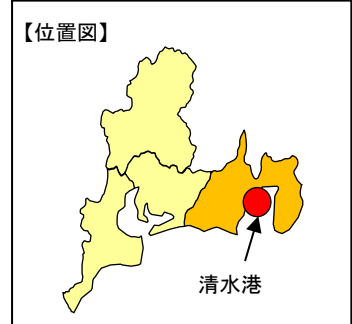
しみず ひの で
清水港日の出地区岸壁改良事業

1. 事業の必要性及び概要

令和 3 年度当初：11.7 億円

クルーズ船だけでなく貨物船も使用する貨客併用の岸壁であり、利用頻度が高くなっています。また、供用後 30 年余りが経過し、上部工の劣化など老朽化が進行していることから、対策が必要となっています。

このため、ひの で 地区において、岸壁の改良を行います。

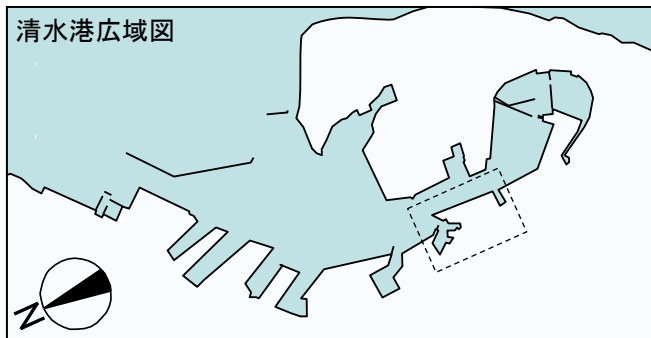


2. 事業箇所

静岡県 ^{しずおか} 静岡市

3. 令和 3 年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、岸壁の老朽化対策を実施します。



4. 整備効果

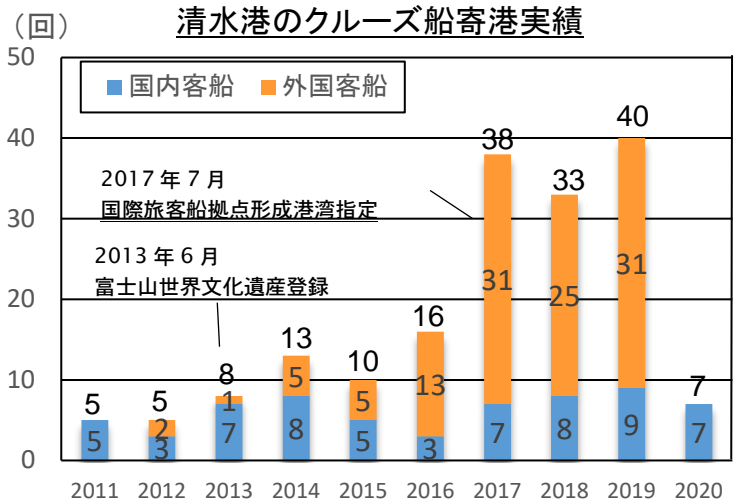
○重点：持続的な経済成長の実現…クルーズを安心して楽しめる環境づくり

<新たな需要の創出>

「国際旅客船拠点形成港湾」に指定（平成 29 年 7 月）された清水港では、日の出地区において、クルーズ船の受入環境を整備することにより、インバウンドの再開を見据えた対応が可能となります。



日の出地区 客船出航状況



○重点：国民の安全・安心の確保

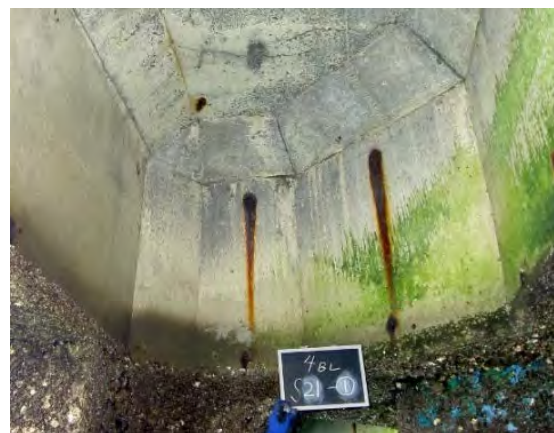
…将来を見据えた港湾施設・海岸施設保全施設の老朽化対策の推進

<岸壁の老朽化対策>

今後の利用を踏まえつつ計画的な老朽化対策により、将来にわたり港湾施設として機能を発揮し、大型クルーズ船2隻同時着岸への対応が可能となります。



日の出地区 上部工の劣化状況



日の出地区 床版の劣化状況

やはぎがわ

どあい

うのくび

やはぎがわ

矢作川河川改修事業[渡合地区(鵜の首)] (矢作川水系)

令和3年度当初:13.2億円

1. 事業の必要性及び概要

豊田市街地を流れる矢作川は、竜宮橋下流に鵜の首と呼ばれる狭窄部があり、平成12年の東海(恵南)豪雨では、狭窄部上流部において氾濫が発生しました。

我が国有数のものづくり拠点を氾濫被害から守るため、河道掘削等を実施し、治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

とよたし
愛知県豊田市



3. 令和3年度実施予定内容及び現在の実施状況

河道掘削を推進します。(矢作川鵜の首地区水位低下対策事業)



4. 整備効果

○重点:防災・減災、国土強靱化の取り組みを計画的に推進

- 平成12年の東海豪雨(恵南豪雨)では、鵜の首狭窄部の影響もあり、上流の豊田市街地で大規模な浸水被害が発生しました。

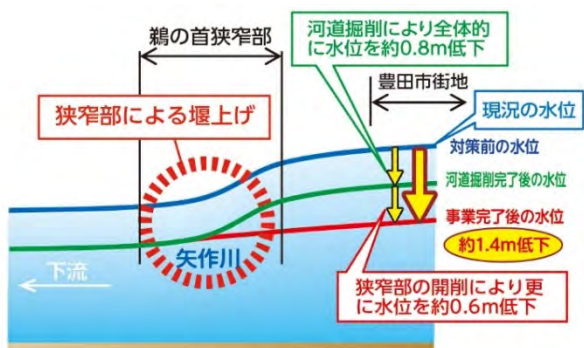
(矢作川水系:被災家屋 約2,800棟、水害区域面積 約1,800ha)



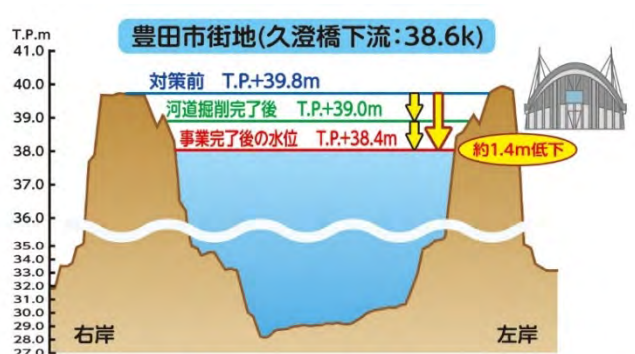
平成12年9月「東海豪雨(恵南豪雨)」の被害状況(豊田市森地区) ……………

- 狭窄部の河床掘削、狭窄部開削を実施することで、上流の豊田市街地(久澄橋下流)で、東海豪雨(恵南豪雨)において水位が約1.4m低下します。
- これにより、豊田市街地(鵜の首地区上流部区間)において東海豪雨(恵南豪雨)の被害が解消されます。

鵜の首狭窄部の整備イメージ



対策効果のイメージ(河川水位の縦断面図) ……………



対策による水位低下効果(横断面図) ……………

しょうないがわ
庄内川河川改修事業

しょうないがわ びわじま しょうないがわ
庄内川特定構造物改築事業[枇杷島地区] (庄内川水系)

令和3年度当初:17.5億円
(岐阜県分:1.5億円、愛知県分:16.0億円)

1. 事業の必要性及び概要

びわじま

名古屋市枇杷島地区は、狭窄部であるとともに県道枇杷島橋を始め、桁下高が低く、橋脚の間隔がせまい橋梁が横架しており、洪水の流下に大きな支障きたしていることから、氾濫した場合には、広範囲の浸水被害が予想されます。

このため、枇杷島地区3橋梁の架替や築堤等を実施し、治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

なごやし

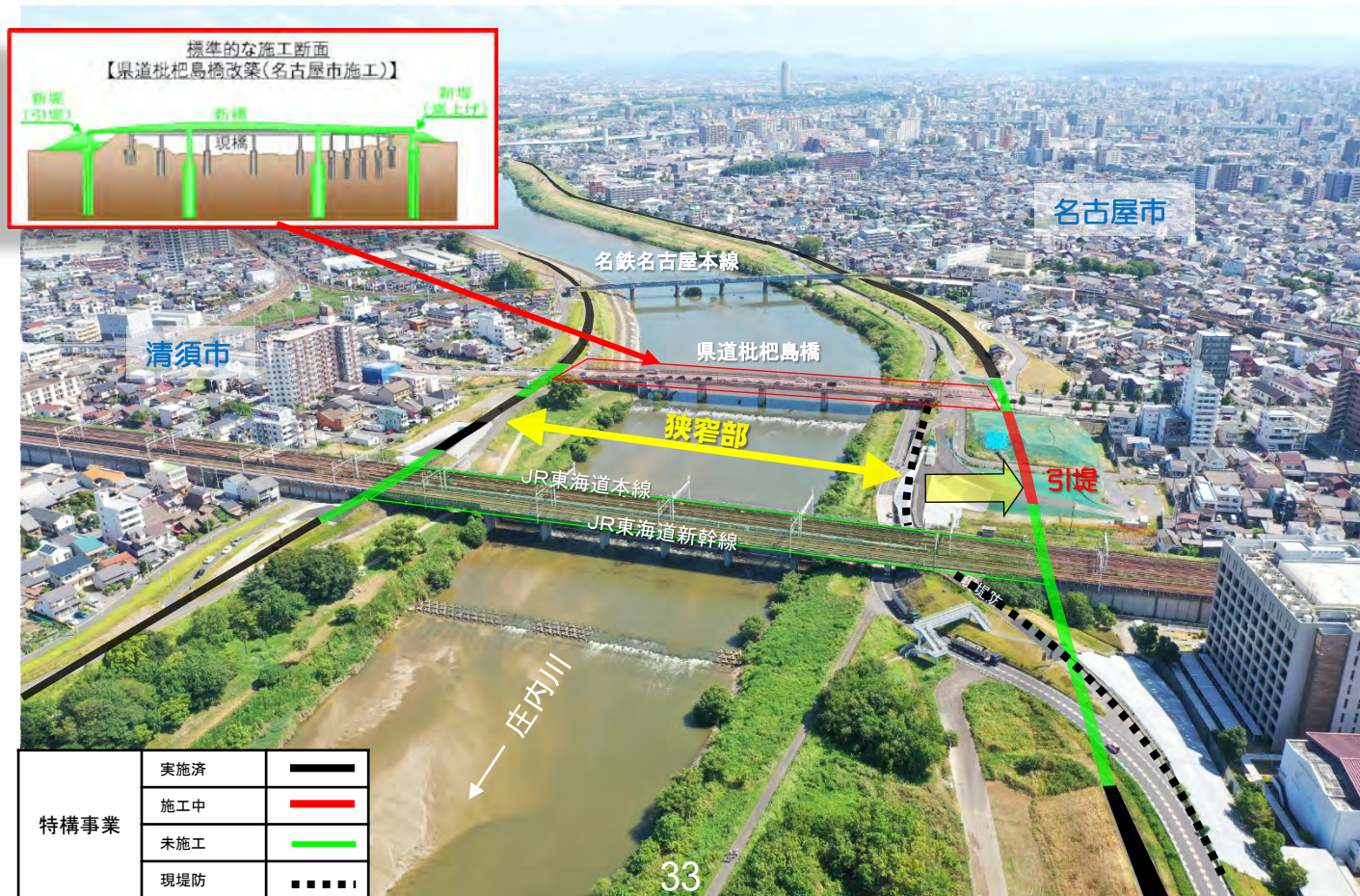
愛知県名古屋市



名古屋市西区
枇杷島付近

3. 令和3年度実施予定内容及び現在の実施状況

令和3年度より、県道枇杷島橋の架替に着手します。(庄内川特定構造物改築事業)



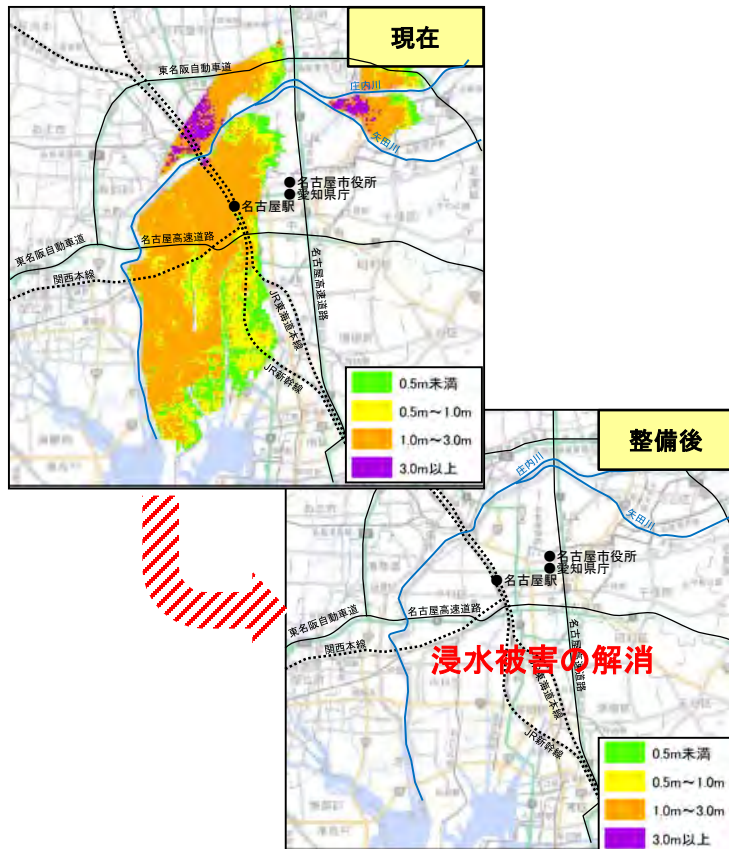
4. 整備効果

○重点:防災・減災、国土強靱化の取り組みを計画的に推進

平成12年9月11日～12日に東海地方に甚大な被害を発生させた東海豪雨では、派川である新川の堤防が決壊したのをはじめ、名古屋市内でも広範囲に浸水被害が発生しました。

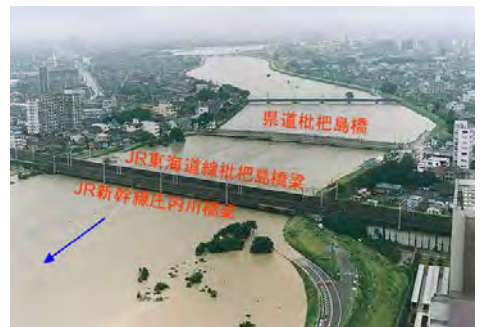
県道枇杷島橋では、洪水が橋桁に衝突するなど、危険な状況でした。

本事業を含む整備計画を完了させることで、中下流域(愛知県区間)は、東海豪雨を安全に流下させることが可能となります。



河川整備計画目標流量による浸水想定

平成12年9月東海豪雨の状況



橋梁の橋げた付近まで水位が上昇(枇杷島地区)



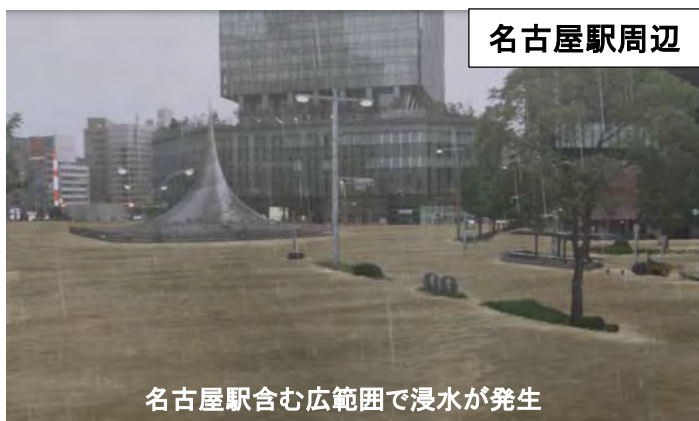
名古屋市西区あし原町先で新川堤防が決壊



新川の堤防決壊による清須市の浸水状況

庄内川が決壊した場合には？

- 河川整備計画の目標規模の大雨が降ったことにより想定される氾濫被害は、浸水面積約9,000ha、浸水人口約66万人、浸水家屋数約30万世帯に及びます。
- 更に、枇杷島狭窄部に架かる東海道新幹線及び東海道本線は、東京・名古屋・大阪の3大都市圏を結ぶ日本の大動脈であり、洪水により流失等の被害が発生すれば、日本経済に与える打撃は深刻なものとなります。



庄内川が決壊した場合の名古屋駅周辺の浸水シミュレーション



地下街にも大量の水が流入

したら
設楽ダム建設事業

令和3年度当初:156.7億円

1. 事業の必要性及び概要

豊川流域には約59万人が生活し、この地域の産業・経済・社会・文化の発展の基盤を築いてきました。一方、洪水時には、堤防決壊による氾濫等により人家や農作物等に多大な被害をもたらす、渇水時には、度々取水制限や水道用水の減圧給水が行われ、農作物の発育不良などの被害が生じています。

そのため、本事業では設楽ダムを建設することにより、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水、水道用水の供給を行います。

2. 事業箇所

愛知県北設楽郡設楽町(豊川水系豊川)



3. 令和3年度実施予定内容及び現在の実施状況

ダム本体工事(基礎掘削)・付替道路工事等を推進します。



設楽ダム完成予想図



工事用道路(廃棄岩骨材運搬路等)



本体工事(基礎掘削)



付替県道設楽根羽線(1号橋～1号トンネル)

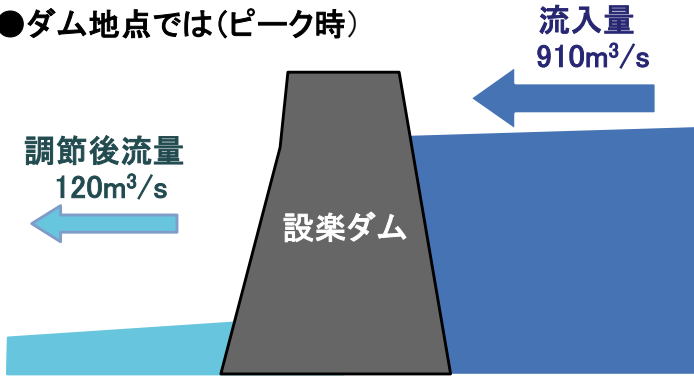
4. 整備効果

○重点:防災・減災、国土強靱化の取り組みを計画的に推進

設楽ダムを建設することにより、戦後最大の洪水量を記録した昭和44年8月洪水(年超過確率1/30規模)に対して、基準地点である石田の流量を約550m³/s減らすことにより、河川の水位を約0.6m下げることが可能となります。

設楽ダムと下流の河道改修の効果をあわせて、浸水被害を軽減します。

●ダム地点では(ピーク時)

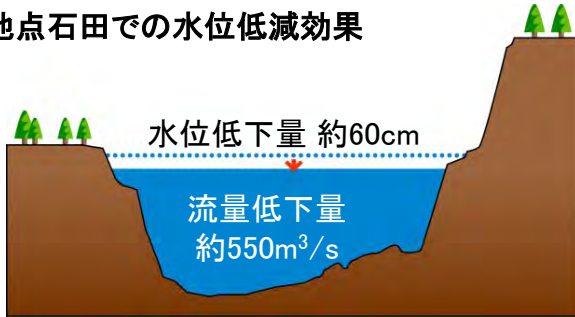


ダム地点で、最大約790m³/sの洪水調節



昭和44年8月(旧一宮町江島)

●基準地点石田での水位低減効果



下流の基準地点の石田では、約550m³/sの流量を低減(約60cm水位を下げる)

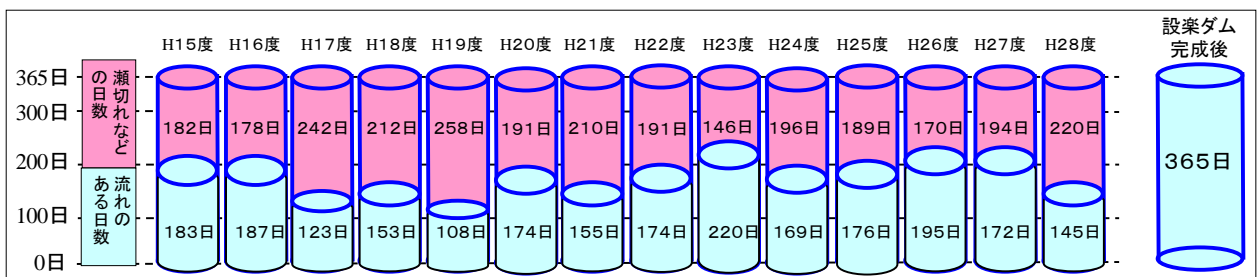
設楽ダムを建設することにより、10年に1回発生する規模の渇水において、河川流量を増加させ、河川環境を保全するとともに、既得用水の取水の安定化を図ります。



(平成16年4月26日 0.0m³/s)大野頭首工下流



(平成16年4月29日 1.3m³/s)大野頭首工下流



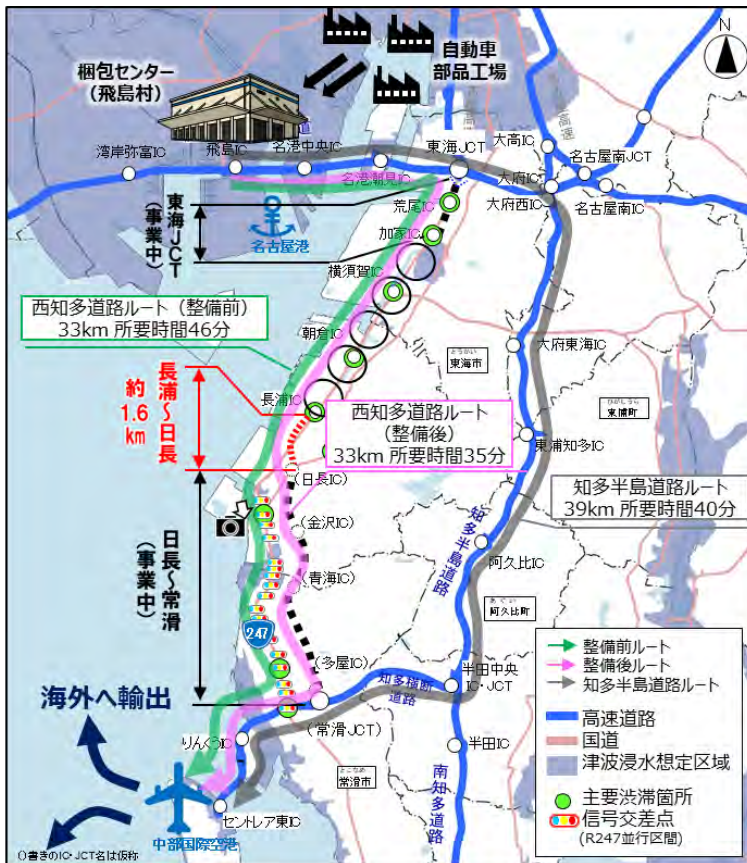
出典:水資源機構

4. 整備効果

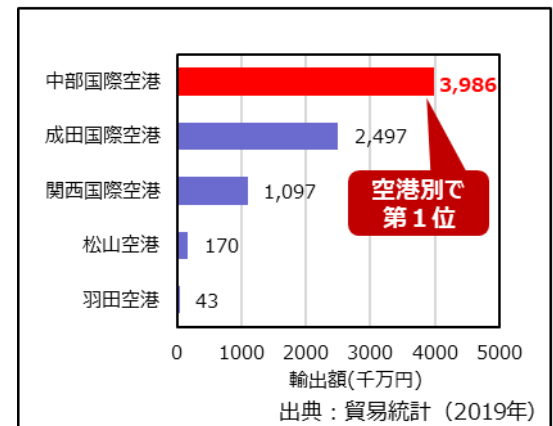
○重点：ダブルネットワークによる経済成長の実現・・・道路・港湾事業の連携

中部国際空港への安全で確実な物流を支援！

- 愛知県には自動車関連企業が集積しており、中部国際空港からの自動車部品輸出額は**全国1位**
- 名古屋港周辺企業から中部国際空港への物流は、最短経路である国道247号を利用しているが、**南部区間は生活交通と輻輳し交通が集中**
- 西知多道路の整備により、現道の物流交通と生活交通の分離や、**知多半島道路とのダブルネットワークを形成し、安全で確実な物流を支援**



■空港別自動車部品輸出額



■国道247号の交通状況



■空港物流関係事業者の声

国道247号経由
現状 46分

知多半島道路経由
現状 40分

長浦～日長整備後
整備後 35分 11分短縮
約15便/週

航空便で海外へ

出典：ETCプローブ情報（2019年10月平日17時台 南行き）
※整備後は整備区間80km/hとして算出

飛島にある梱包センターから中部国際空港への輸送の大半は西知多産業道路・国道247号を利用していますが、急ぎで納品が必要な時などは、知多半島道路を利用しています。

西知多産業道路を経由した場合、信号連担区間を通過しなければならないことや、時間が読みにくいところもあります。西知多道路が整備されると、迂回しなくても最短の経路で中部国際空港にアクセスできます。

出典：ヒアリング調査結果（2021年1月実施）

貨物利用
運送事業者

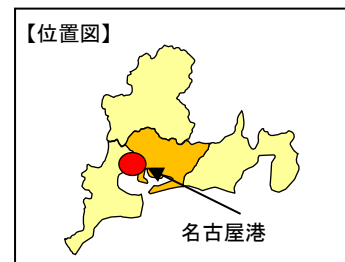
なごや
名古屋港ふ頭再編整備事業

1. 事業の必要性及び概要

令和3年度当初：123.6億円

近年、自動車部品や産業機械などのコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化の進展に加え、飛島東側ターミナルの水深12m岸壁は供用後40年以上が経過し老朽化が進行しています。また、自動車運搬船の大型化の進展に加え、完成自動車取扱施設の分散による非効率な荷役が生じていることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

このため、飛島ふ頭地区においてコンテナ貨物の取扱拠点の整備を、金城ふ頭地区において完成自動車の輸出拠点の整備を行います。



2. 事業箇所

愛知県名古屋市

3. 令和3年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、岸壁の増深改良及び耐震強化岸壁の整備を実施します。



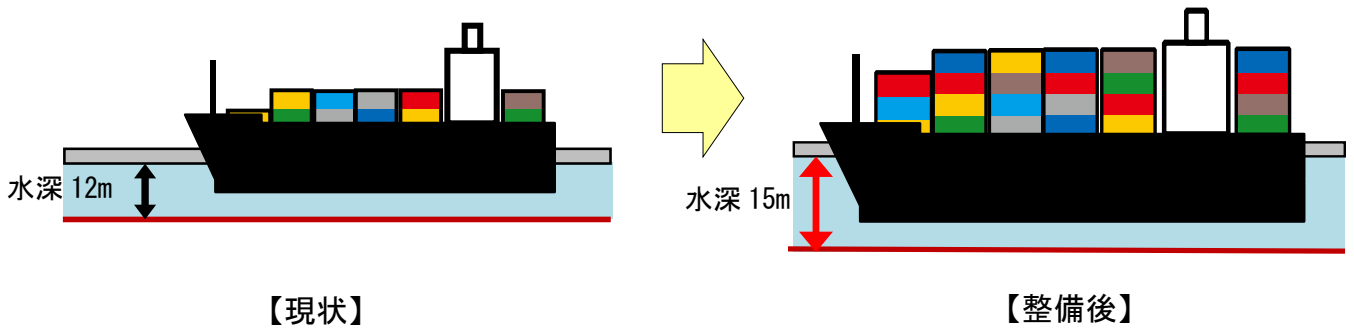
4. 整備効果

○重点：豊かで活力ある地方の形成と多核連携型の国づくり

…地域の基幹産業の競争力強化のための港湾整備

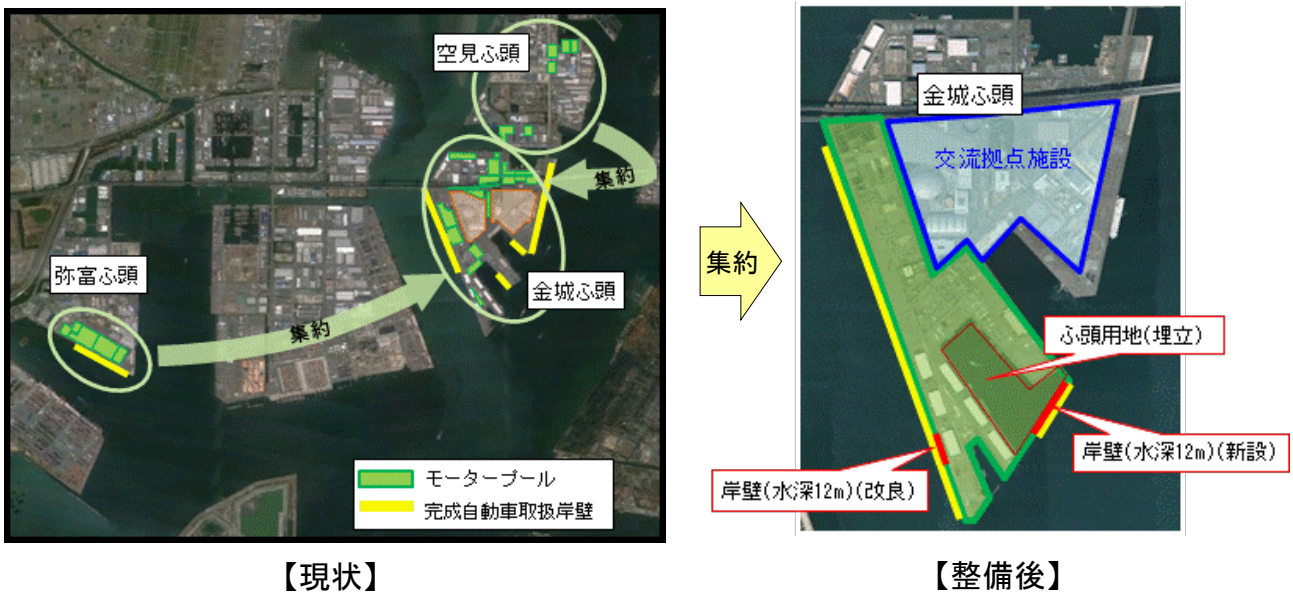
<コンテナ船の大型化への対応>

コンテナ船の大型化が進んでおり、岸壁の水深不足による非効率な輸送が発生していることから水深15mへ増深することにより、一度に輸送できる貨物量が増加することで輸送コストの低減を図り、物流効率化を推進します。



<モータープールの集約>

自動車専用船の大型化が進んでおり、岸壁の水深不足による非効率な輸送や荷さばき地等の不足・分散による横持ちが発生していることから、ふ頭の再編・集約化により、物流効率化を推進します。



○重点：国民の安全・安心の確保

…大規模地震災害に対する港湾の防災・減災、国土強靱化の推進

<被災時における社会・経済活動の維持>

耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。

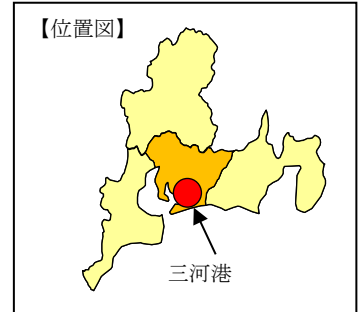
みかわ じんの
三河港 神野地区岸壁改良事業

1. 事業の必要性及び概要

令和3年度当初：1.6億円

完成自動車や鋼材、金属くずなどを取り扱う、背後産業の物流を支える岸壁であり、利用頻度が高くなっています。また、供用後40年余りが経過し、鋼矢板の劣化など老朽化が進行していることから、対策が必要となっています。

このため、^{じんの}神野地区において岸壁の改良を行います。



2. 事業箇所

愛知県 ^{とよはし}豊橋市

3. 令和3年度事業予定内容及び現在の実施状況

岸壁の老朽化対策を実施します。



4. 整備効果

○重点：国民の安全・安心の確保

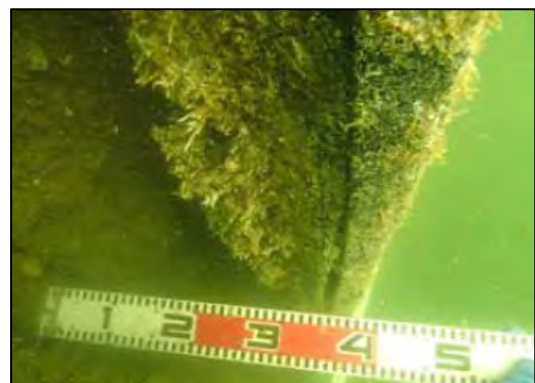
…将来を見据えた港湾施設・海岸保全施設の老朽化対策の推進

＜岸壁の老朽化対策＞

今後の利用を踏まえつつ計画的な老朽化対策により、将来にわたり港湾施設として機能を発揮し、背後産業の物流を支えます。



神野地区 上部工の劣化状況



神野地区 鋼矢板の劣化状況

なごや
名古屋第4地方合同庁舎整備等事業（PFI手法による庁舎整備）

令和3年度当初：0億円

1. 事業の必要性及び概要

既存庁舎の耐震性能不足や老朽化による機能の不具合解消を図るとともに、地域と連携し、大規模災害時に地域の防災拠点となる名古屋第4地方合同庁舎の整備を進めます。



2. 事業箇所

愛知県 ^{なごや}名古屋 市

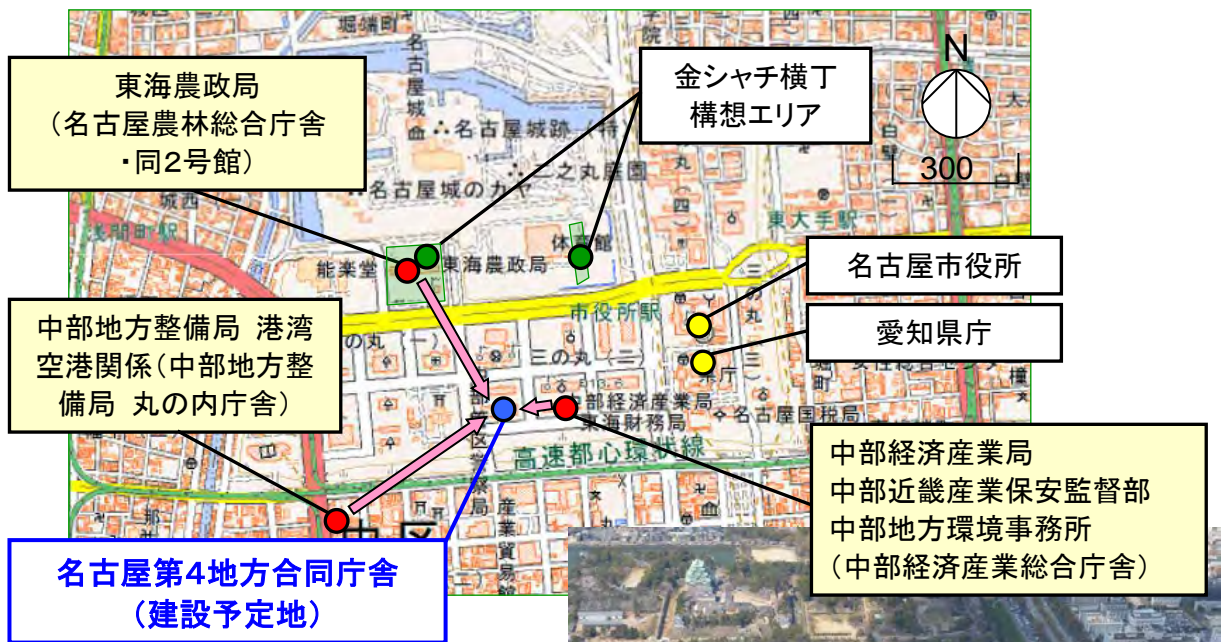
3. 令和3年度実施予定内容及び現在の実施状況

PFI手法による事業公告、事業契約を予定しています。

4. 整備効果

○重点：国民の安全・安心の確保

・名古屋第4地方合同庁舎は、被災時に応急対策活動を行う東海農政局、中部経済産業局、中部地方整備局（港湾空港部）等の官署を集約し、大規模災害時における災害応急対策活動の拠点となる庁舎として地域防災に貢献します。



- 敷地
名古屋市中区三の丸2丁目6-2
敷地面積 6,581㎡
- 構造・規模
鉄骨造 地上11階・地下2階建て
延べ面積 25,703㎡
- 令和7年度 完成予定



平成31年4月撮影
(愛知県警察本部提供)

**名古屋第4地方合同庁舎
(建設予定地)**

きそがわ 木曽川下流河川改修事業[深谷地区] (木曽川水系)

ふかや

きそがわ

令和3年度当初:24.0億円

(岐阜県分:10.2億円、愛知県分:3.3億円、三重県:10.5億円)

1. 事業の必要性及び概要

いびがわ 揖斐川は、我が国最大のゼロメートル地帯である濃尾平野を流れ、ひとたび災害等が発生した場合には、その被害は甚大となります。当該地区の河川堤防は、樋管周辺の堤防が高さ及び断面が不足しているため、堤防整備と併せて樋管の改築を実施し、治水安全度の向上を図ります。

2. 事業箇所

くわなし
三重県桑名市



3. 令和3年度実施予定内容及び現在の実施状況

令和3年度より、築堤、樋管改築に新規着手します。

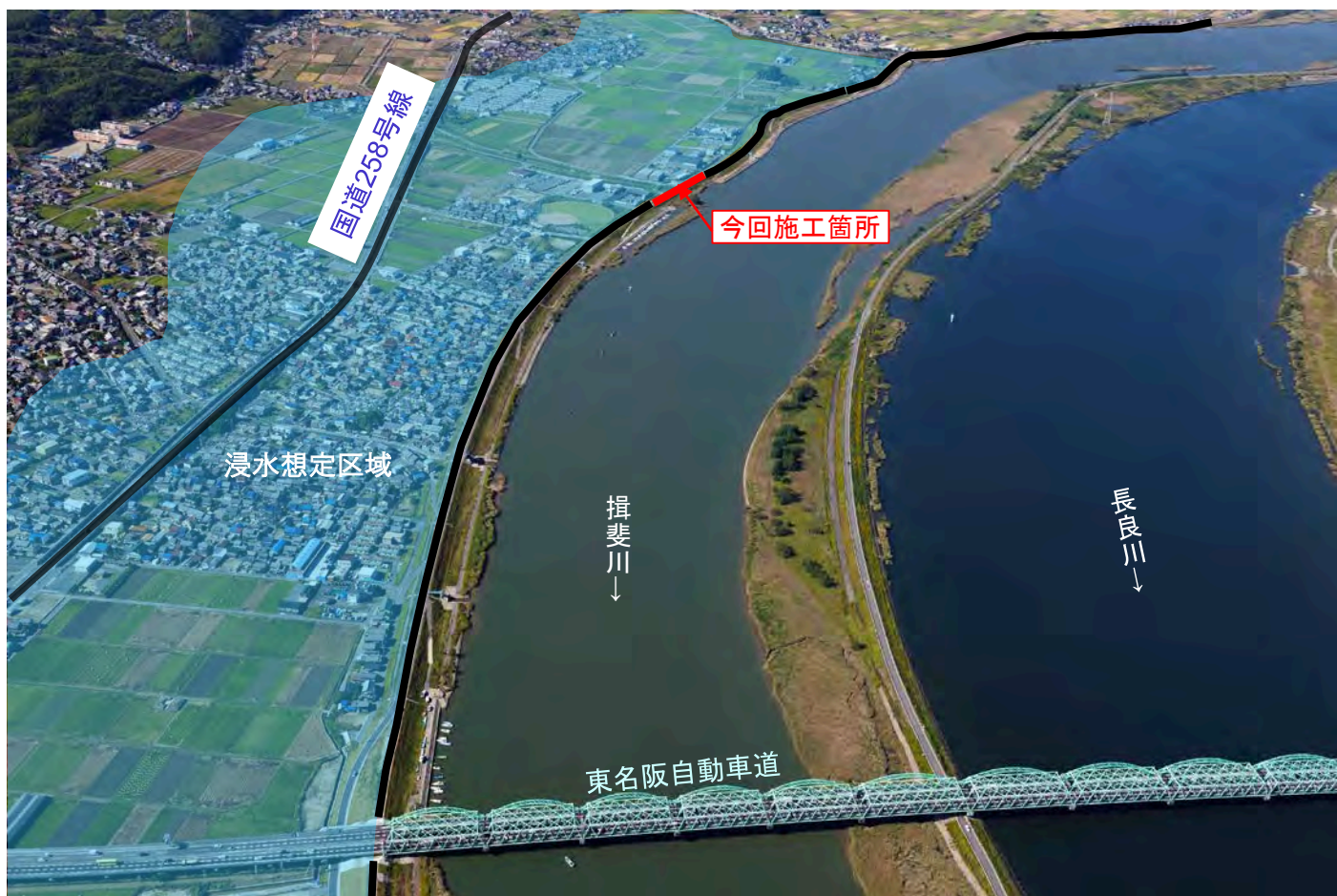
ふかや
(揖斐川深谷地区堤防整備事業)



4. 整備効果

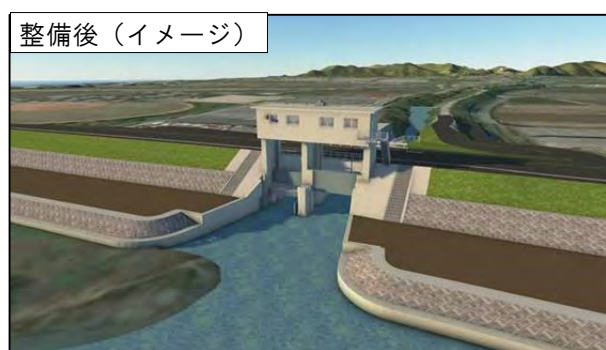
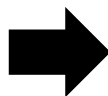
○重点：防災・減災、国土強靱化の取り組みを計画的に推進

- 日本最大のゼロメートル地帯であり、当該地域も海拔0m以下の地域です。そのため、ひとたび堤防が決壊すると甚大な浸水被害が想定されます。
- 本事業の実施により、浸水被害(3,578戸)が解消されるとともに、大垣市と桑名市を結ぶ第1次緊急輸送道路(国道258号線)の通行が確保されます。



<想定被害諸量>

人口(人)	世帯数(戸)	一般資産額等合計(百万円)
10,139	3,578	212,629



とうかいかんじょう
国道475号 東海環状自動車道
 くまのおわせ くまの きほうくまの
国道42号 熊野尾鷲道路(Ⅱ期)、熊野道路、紀宝熊野道路
 よっかいち
国道1号 近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業

令和3年度当初【東海環状自動車道】：316.1億円〔三重県分：34.1億円〕
 【熊野尾鷲道路(Ⅱ期)、熊野道路、紀宝熊野道路】：66.8億円
 【近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業】：1.0億円

1. 事業の必要性及び概要

- 東海環状自動車道は、地域活性化・地域開発の支援を目的とした名古屋圏の環状道路を形成する延長約153kmの高規格道路です。
- 国道42号熊野尾鷲道路(Ⅱ期)、熊野道路、紀宝熊野道路は、近畿自動車道紀勢線と一体となつて、広域的防災に資する道路ネットワークの強化を目的に計画された一般国道の自動車専用道路です。
- 国道1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業は、近鉄四日市駅における新たな交通結節点として、3箇所に分散している路線バス・高速バスの乗降場を集約し、歩行者の円滑な移動・乗換を支援する交通拠点を整備します。



2. 事業箇所

- 東海環状自動車道：愛知県豊田市～三重県四日市
- 国道42号熊野尾鷲道路(Ⅱ期)、熊野道路、紀宝熊野道路：三重県尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町
- 国道1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業：三重県四日市

3. 令和3年度事業予定内容及び現在の実施状況

- 東海環状自動車道【北勢～四日市(延長14.4km)】【養老～北勢(延長18.0kmうち三重県9.0km)】
 - 北勢IC(仮称)～大安IC間(延長6.6km)の橋梁工事等を推進。《令和6年度開通見込み※1》
 - 養老IC～北勢IC(仮称)間(延長18.0km)の改良工事、橋梁工事等を推進。(三重県)《令和8年度開通見込み※2》
- 国道42号熊野尾鷲道路(Ⅱ期)、熊野道路、紀宝熊野道路
 - 尾鷲北IC～尾鷲南IC間(延長5.4km)の設備・舗装工事等を推進。《令和3年夏頃開通予定》
 - 熊野大泊IC～熊野IC(仮称)間(延長6.7km)の用地買収、改良工事等を推進。
 - 熊野IC(仮称)～紀宝IC(仮称)間(延長15.6km)の調査設計、用地買収等を推進。
- 国道1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業(延長0.3km)
 - 調査設計及び関係機関協議を推進。《令和3年度新規事業化》



至北勢IC(仮称)

至大安IC R3.1撮影



至尾鷲南IC

至松阪 R3.2撮影



令和6年度開通に向け工事が進む
東海環状自動車道 北勢IC～大安IC

令和3年夏頃開通に向け工事が進む
熊野尾鷲道路Ⅱ期 尾鷲北IC付近

近鉄四日市駅前(中央通り)の状況
国道1号近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業 令和3年度新規事業化

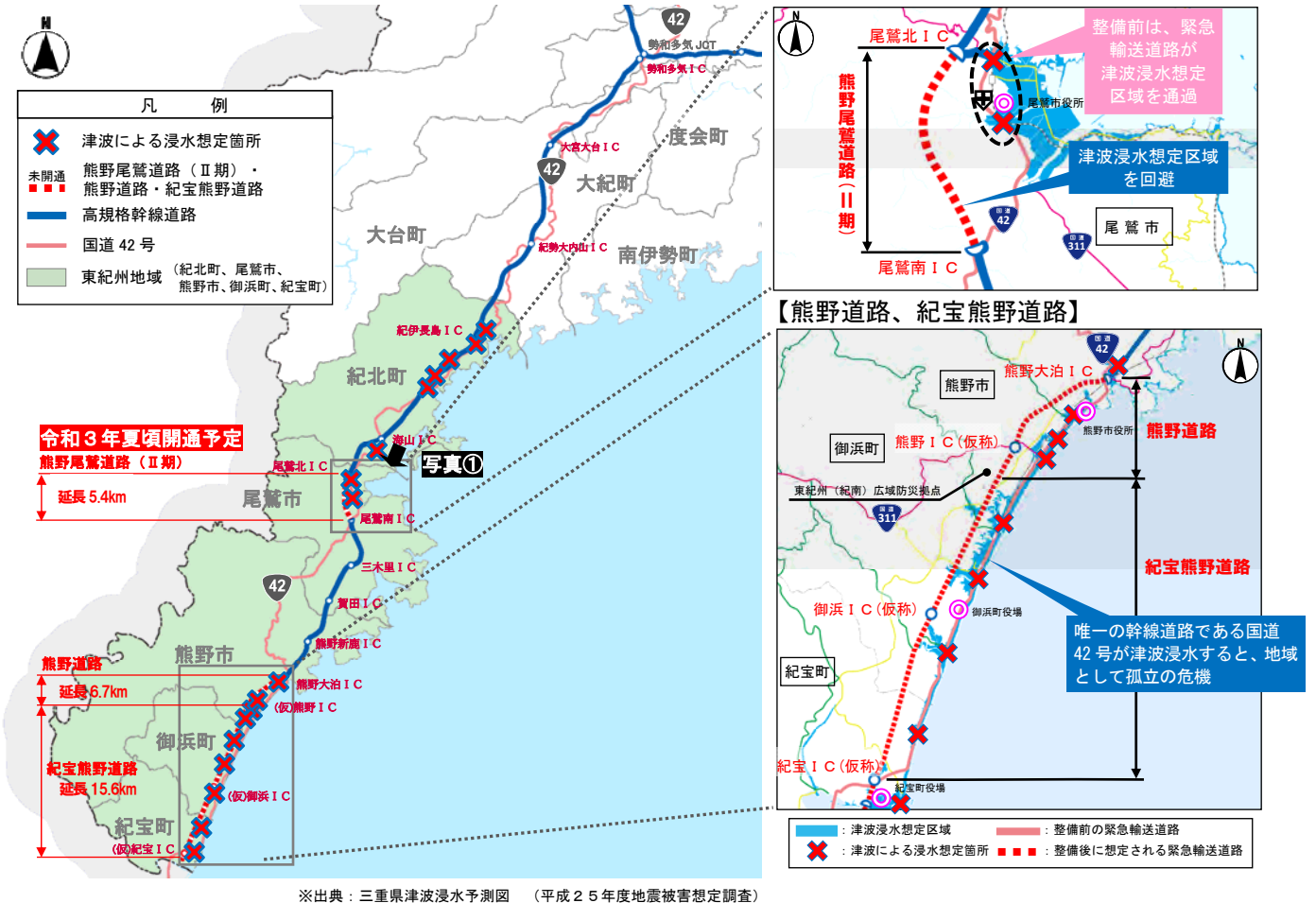
4. 整備効果

○重点：国民の安全・安心の確保・・・災害に強い道路機能の確保

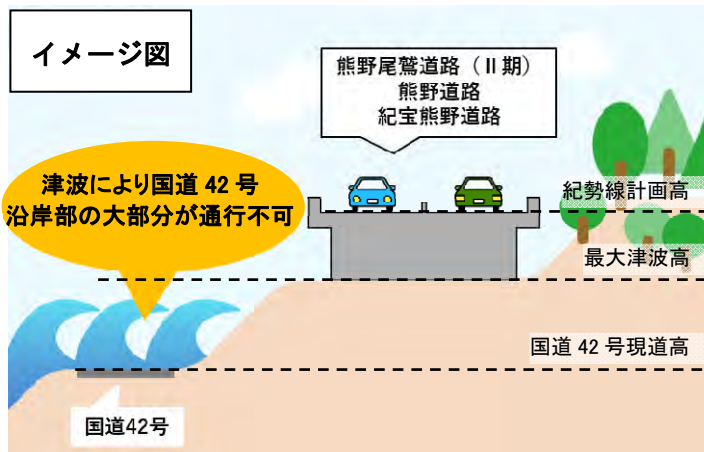
高速道路ネットワークの形成により、災害に強い道路機能を確保！！

- ▶ 南海トラフ巨大地震等の大規模地震時における津波浸水想定区域を回避した緊急輸送道路を確保
- ▶ ネットワーク強化によるアクセス経路が確保可能となり、地域の孤立リスクが解消

■津波による国道42号の浸水想定箇所



■平成16年台風21号による国道42号での災害



道路決壊により78時間の通行止が発生

よっかいち かすみがうら
四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業

1. 事業の必要性及び概要

令和3年度当初：7.8億円

近年、東南アジア航路のコンテナ貨物の増加やコンテナ船の大型化の進展により、水深14m岸壁を有する北ふ頭の利用が増加しています。また、背後の自動車企業等において完成自動車の取扱が増加する見込みです。

今後、大型船の着岸可能な岸壁の不足が見込まれることから、これらに対応した港湾機能の強化が必要となっています。

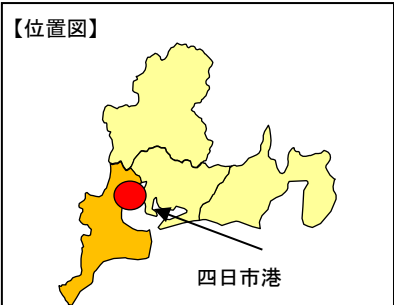
このため、霞ヶ浦地区において、国際物流ターミナルの整備を行います。

2. 事業箇所

三重県 よっかいち 四日市市

3. 令和3年度事業予定内容及び現在の実施状況

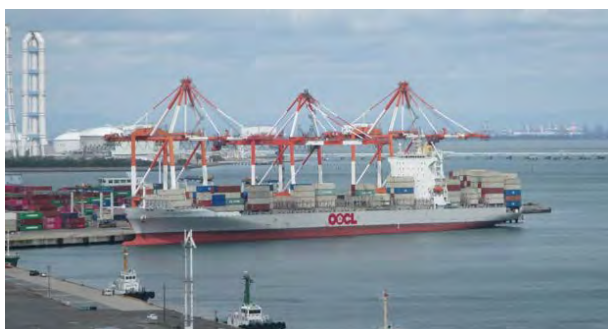
令和3年度より地盤改良等に着手します。



【現状】



【整備後】
霞ヶ浦北ふ頭へ
コンテナ機能の集約化



北ふ頭に係留するコンテナ船



南ふ頭に係留する自動車輸送船

4. 整備効果

○重点：豊かで活力ある地方の形成と多核連携型の国づくり

…地域の基幹産業の競争力強化のための港湾整備

<コンテナ輸送距離短縮による効率化>

新たな岸壁の整備により、大型化が進展しているコンテナ船の着岸が可能となり、航路便数の増加が見込まれます。これにより、四日市港におけるコンテナ貨物量の増加への対応が可能となるとともに、他港への陸上輸送が解消され、効率的な輸送体系が可能となります。



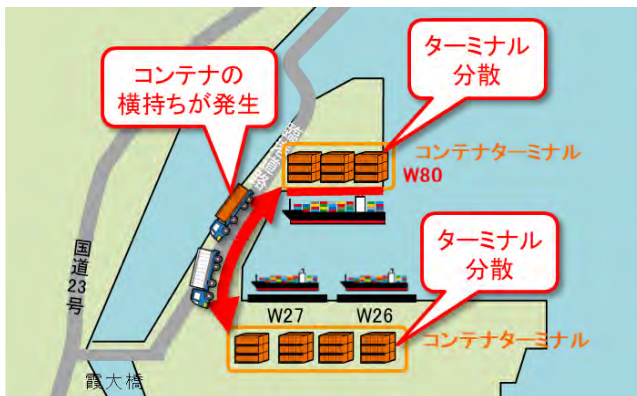
【現状】



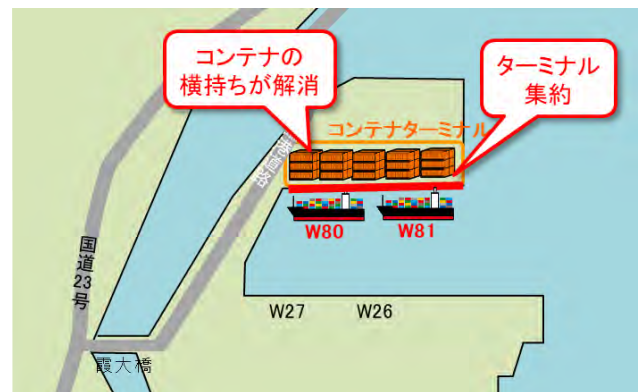
【整備後】

<ターミナルの効率化>

霞ヶ浦地区北ふ頭にコンテナ機能が集約化されることで、荷捌き地等の不足・分散による横持ちが解消され、効率的な荷役が可能となります。



【現状】



【整備後】

○重点：国民の安全・安心の確保

…大規模地震災害に対する港湾の防災・減災、国土強靱化の推進

<被災時における社会・経済活動の維持>

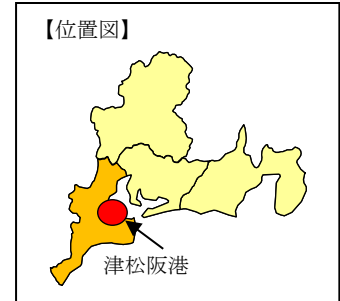
耐震強化岸壁の整備により、被災時においても海上輸送が可能となり、背後企業の事業継続、物流機能が確保できます。

つまつさか
津松阪港海岸 直轄海岸保全施設整備事業

1. 事業の必要性及び概要

令和3年度当初：10.6億円

海岸堤防は、整備後50年以上が経過し、老朽化が進行するとともに、天端高さが不足しており、高潮による甚大な浸水被害が懸念されています。また、地震発生時には液状化による沈下の恐れがあることから耐震化が必要となっています。



このため、津地区（栗真工区、栗真町屋工区、阿漕浦・御殿場工区）において、堤防の改良を行います。

2. 事業箇所

三重県 津市

3. 令和3年度事業予定内容及び現在の実施状況

引き続き、堤防の老朽化対策及び耐震対策を実施します。



整備前の堤防(阿漕浦・御殿場工区)



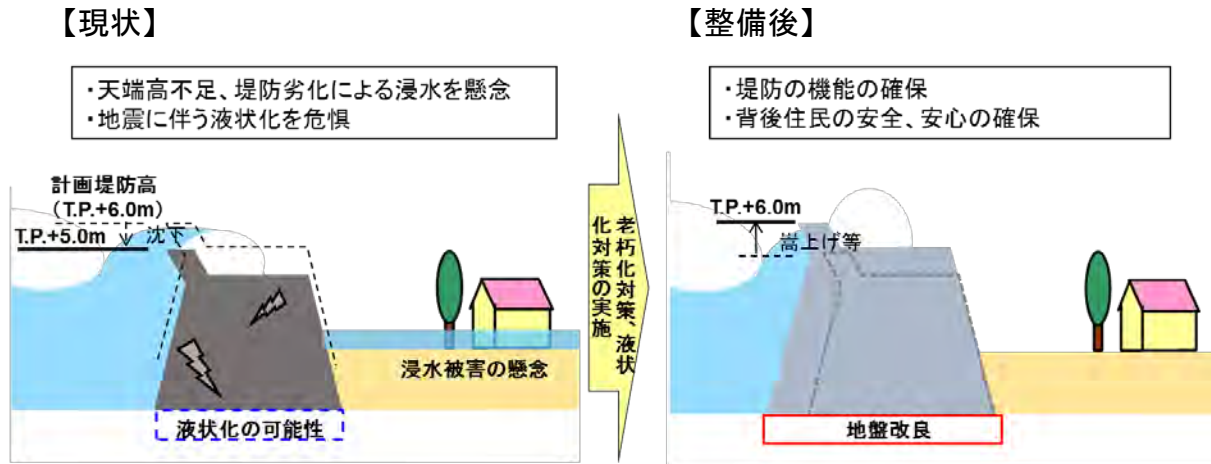
整備後の堤防(阿漕浦・御殿場工区)

4. 整備効果

○重点：国民の安全・安心の確保…地震・津波・高潮・侵食災害に備えた港湾海岸の整備

<浸水リスクの低減により、背後地域が活性化>

海岸堤防の計画天端高さを確保し、海岸堤防の機能を維持することで、高潮による背後地域への浸水を防護し、背後地域における住民の安全・安心を確保します。



海岸堤防の整備に合わせて、背後地域の宅地開発が進むとともに、背後地域に企業や病院への新たな設備が投資されるなど、周辺地域の活性化が進んでいます。

阿漕浦・御殿場工区は、「三重とこわか国体」のセーリング競技やビーチバレー競技の会場になるなど、海浜を利用した多くのイベントが開催されている海岸であり、この地域の賑わいづくりにも寄与できるものと期待されています。



【凡例】

● : 堤防整備開始後の宅地開発 □ : 防護区域

— : 堤防整備中

てんりゅうがわちゅうりゅう

天竜川中流地区直轄地すべり対策事業

令和3年度当初:4.5億円

1. 事業の必要性及び概要

天竜川中流地区には地すべりが多数存在しており、近年豪雨が増加傾向にあることや南海トラフ地震の発生確率が高くなっていることから、地すべり発生リスクが高まっています。

地すべりが発生した場合、地すべりによる直接被害や天然ダム の湛水・決壊により広域にわたり浸水・氾濫被害が発生し、基幹集落である平岡地区をはじめ、国・県道および鉄道等が被災する恐れがあるため、早期に地すべり対策工事を実施し、土砂災害の防止・軽減を図ります。



2. 事業箇所

ながのけん しもいなぐん あなんちよう てんりゅうむら
長野県下伊那郡阿南町、天龍村

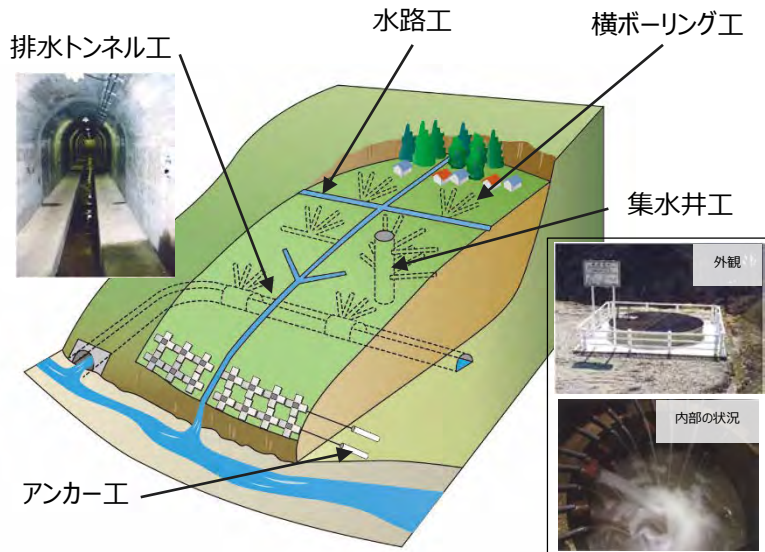
3. 令和3年度実施予定内容及び現在の実施状況

しゅうすいせい
集水井工を実施します。

■天竜川中流地区



■対策イメージ



■平岡地区全景



■開窪地区全景



凡例 ● 公共施設等 — 国道、県道 ≡ JR線 ○ 地すべりブロック

地すべりブロック: 地すべりとして一体となって動く恐れがある土砂や岩の塊の範囲

4. 整備効果

○重点:防災・減災、国土強靱化の取り組みを計画的に推進

地域の基幹的な集落である平岡地区を中心とした天竜川中流地区内の地すべり災害安全度が向上し、地すべりによる直接被害、天竜川の河道閉塞の湛水・決壊による土砂・洪水氾濫被害を防ぎます。

■災害発生時の影響



天然ダムの決壊による被害

・開窪地区

地すべりが発生し、開窪地区が被災するとともに天然ダムが形成
⇒決壊による氾濫により平岡地区が被災

地すべりによる直接的な被害

・平岡地区

地すべりが発生
⇒地すべりによる直接的な被害が平岡地区に発生

天然ダム上流域の湛水による被害

・中井侍地区

地すべりが発生し、中井侍地区が被災するとともに天然ダムが形成
⇒天然ダム上流域の湛水により平岡地区が浸水

■近年の土砂災害



■事業実施による効果

- 地すべり土塊の滑動に伴う、居住地・道路・鉄道・発電所等インフラの直接被害の防止
- 地すべりにより河道閉塞が発生した場合の、上流の湛水、下流の氾濫に伴う間接被害の防止
- 基幹集落機能（役場機能等）の保全（平岡地区）

【主な保全対象】

重要施設：天龍村役場、天龍村診療所、平岡発電所、深見浄化センター、早木戸発電所 等
幹線：国道418号、県道1号、JR飯田線 等
保全家屋：369戸
事業所数：82箇所

さんえんなんしん
国道474号 三遠南信自動車道
さくらざわ
国道19号 桜沢改良

令和3年度当初【三遠南信自動車道】：162.7億円

〔長野県分：65.8億円〕

【桜沢改良】：3.5億円

1. 事業の必要性及び概要

- 三遠南信自動車道は、中央道、新東名と連絡し広域ネットワークを構築し、災害に強い道路機能の確保、救急医療活動の支援、地域活性化の支援を目的に計画された延長約100kmの高規格道路です。
- 国道19号桜沢改良は、現道の急傾斜地の崩壊・落石等の危険箇所や雪崩、土石流が発生した防災課題箇所を回避し、利用者の安全・安心な走行を目的に計画された道路です。



2. 事業箇所

- 三遠南信自動車道：長野県飯田市～静岡県浜松市
- 国道19号桜沢改良：長野県塩尻市大字贅川～同市大字宗賀

3. 令和3年度事業予定内容及び現在の実施状況

■三遠南信自動車道

【飯橋道路（延長22.1km）】 【青崩峠道路（延長5.9km うち長野県3.3km）】

- 飯田上久堅・喬木富田IC～喬木IC間（延長7.5km）の改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進。
- 小嵐IC(仮称)～水窪北IC(仮称)間（延長5.9km）の改良工事、橋梁工事、トンネル工事等を推進。

■国道19号桜沢改良（延長2.1km）

- 改良工事、舗装工事等を推進。《令和3年秋頃開通予定》



橋梁下部工の施工状況
飯橋道路



トンネル坑口付近の工事状況
青崩峠道路（長野側）



令和3年秋頃開通に向けた
工事の状況 桜沢改良

4. 整備効果

○重点：国民の安全・安心の確保・・・広域防災ネットワークの構築

災害に強い国土幹線道路ネットワークを構築し、災害時も連絡可能な道路を整備！

- 県境付近は事前通行規制区間が多く、災害時に連絡できる道路が脆弱
- 令和2年7月豪雨で、泰阜村へアクセスする県道の複数で通行止めが発生したが、飯喬道路が泰阜村へのアクセス道路として機能し、リダンダンシー効果を発揮
- 三遠南信自動車道の整備により、地域間を結ぶ交通軸が形成され、災害に強い道路の整備により**災害に強い国土幹線道路ネットワークが構築**



<過去5年間の並行現道被災状況>

- 2015.3 県道上飯田線喬木村氏乗付近にて、法面崩壊により通行止め。
- 2016.5 県道上飯田線喬木村氏乗付近にて、土砂流出により通行止め。
- 2018.9 県道上飯田線喬木村氏乗付近にて、土砂流出により通行止め。
- 2020.7 県道天竜公園阿智線泰阜村唐笠駅付近にて、法面崩壊により通行止め。

三遠南信自動車道	
開通済	———
事業中	- - - - -
高速道路	—————
一般国道	—————
通行不能区間	×××××
事前通行規制区間	—————
地域 下伊那	2010.7災害箇所 ⊗
	2015.3、2016.5災害箇所 ⊗
	2018.9災害箇所 ⊗
	2020.7災害箇所 ⊗
地域 北遠	2010以降災害発生箇所 ⊗

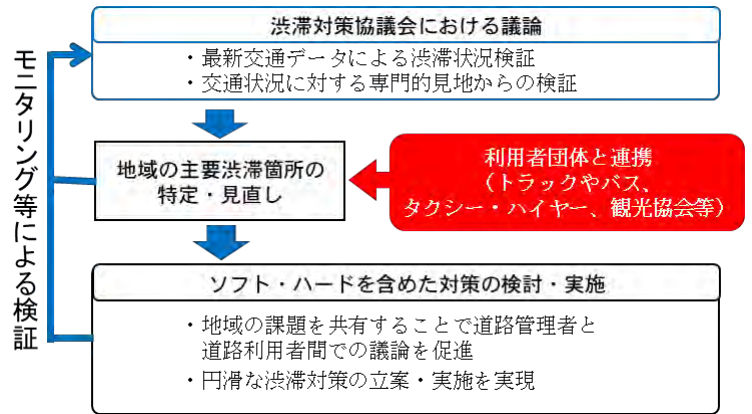
官民連携による渋滞対策の推進

1. 概要

各県単位で、道路管理者、警察等から構成される渋滞対策協議会において、効果的な対策を検討・実施しています。

この渋滞対策協議会とトラックやバス等の利用者団体との連携を強化し、利用者目線で対策箇所を特定した上で、速効性のある渋滞対策を実施します。

【渋滞対策の流れ】



2. 主な事業箇所・事業内容

国道 21 号 住吉南交差点（岐阜県 可児市）



《《 直進車線の増設を予定 》》

国道 139 号 広見 IC（静岡県 富士市）



《《 オフランプの改良を予定 》》

国道 22 号 伝法寺交差点（愛知県 一宮市）



《《 交差点路面標示の改良を予定 》》

国道 23 号 納所町交差点（三重県 津市）



《《 左折車線の延伸を予定 》》

4. 県別の主な整備箇所一覧

【岐阜県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R3当初配分額	
河川関係	庄内川河川改修事業(多治見市 豊岡地区 庄内川豊岡地区堤防整備事業)	国	1.5億円	豊岡地区 R3新規箇所
	木曽川下流河川改修事業(海津市 本阿弥新田地区 揖斐川海津浸透対策事業 他)	国	10.2億円	
	木曽川上流河川改修事業 (大垣市 横曽根地区 木曽川上流特定構造物改築事業(新水門川排水機場))	国	29.2億円	本郷・日置江 R3完成予定 横曽根地区 R3新規事業化 横越地区 R3新規箇所
	木曽川総合水系環境整備事業(海津市 上之輪新田地区 自然再生 他)	国	0.8億円	忠節等地区 R3完成予定
	庄内川総合水系環境整備事業(多治見市、土岐市 庄内川上流部地区 自然再生)	国	0.4億円	
	新丸山ダム建設事業	国	109.8億円	
	木曽川水系直轄砂防事業(中津川市 川上流路工改築 他)	国	10.0億円	
	庄内川水系直轄砂防事業(多治見市 厩ヶ洞砂防堰堤工群 他)	国	4.9億円	
	越美山系直轄砂防事業(本巣市 アテガ平谷第1砂防堰堤 他)	国	16.4億円	
	飛騨川大規模特定河川事業(下呂市 掘削護岸工 他)	県	1.0億円	R3新規箇所
	内ヶ谷ダム建設事業	県	36.6億円	
	大規模更新砂防等事業(揖斐川町 春日川合堰堤改良工 他)	県	2.2億円	
	事業間連携砂防等事業(中津川市 阿木砂防堰堤工 他)	県	5.1億円	
	道路関係	国道158号 中部縦貫自動車道	国	23.9億円
国道475号 東海環状自動車道		国	270.5億円	関～養老 R6年度 全線開通見込み 養老～北勢 R8年度 全線開通見込み※
国道 41号 高山下呂連絡道路 石浦バイパス		国	6.3億円	
国道 19号 瑞浪恵那道路(瑞浪～恵那武並)・(恵那工区)		国	30.9億円	
国道 21号 岐大バイパス		国	4.5億円	
国道 41号 上麻生防災		国	7.1億円	
国道 41号 屏風岩改良		国	4.7億円	
国道 41号 門原防災		国	7.6億円	
国道 41号 船津割石防災		国	7.0億円	
国道156号 岐阜東バイパス		国	11.4億円	
国道156号 郡上大橋架替		国	2.0億円	
国道 19号 岐阜19号 交差点改良等(恵那市竹折歩道整備)		国	0.03億円	R3 新規事業化
国道 41号 岐阜41号 交差点改良等(下岡本町南交差点改良)		国	0.06億円	R3 新規事業化
国道 41号 岐阜41号 交差点改良等(梨ヶ根登坂)		国	2.7億円	
国道156号 岐阜156号 交差点改良等(須原交差点改良)		国	0.6億円	R3 新規事業化
国道156号 岐阜156号 交差点改良等(大島歩道整備)		国	0.2億円	R3 新規事業化
国道 41号 冬頭電線共同溝		国	2.2億円	
公園関係	国営木曽三川公園 (国営公園整備事業) 〔桜堤サブセンター 等〕	国	3.8億円	

※ 用地取得等が順調な場合

【静岡県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R3当初配分額	
河川関係	狩野川河川改修事業(清水町、長泉町 黄瀬川地区 黄瀬川洪水氾濫防止事業 他)	国	12.1億円	
	安倍川河川改修事業(静岡市 下河原地区 安倍川下流部河道掘削事業 他)	国	2.6億円	
	大井川河川改修事業(焼津市、吉田町 中島・川尻地区 大井川中島・川尻防災ST整備事業 他)	国	5.3億円	中島、川尻地区 R3完成予定
	菊川河川改修事業(菊川市 半済地区 菊川本所無堤部対策事業 他)	国	6.3億円	
	天竜川下流河川改修事業(浜松市、磐田市 飯田・掛塚地区 天竜川下流部水位低下対策事業 他)	国	4.5億円	
	狩野川総合水系環境整備事業(伊豆の国市 神島地区 水辺整備 他)	国	1.4億円	神島地区 R3新規箇所
	大井川総合水系環境整備事業(島田市 宝来地区 水辺整備)	国	0.3億円	
	天竜川ダム再編事業	国	9.1億円	
	狩野川水系直轄砂防事業(伊豆市 松沢川砂防堰堤群 他)	国	7.6億円	
	富士山直轄砂防事業(富士宮市 大沢川源頭部 他)	国	29.4億円	
	安倍川水系直轄砂防事業(静岡市 大谷山腹工 他)	国	6.9億円	
	由比地区直轄地すべり対策事業	国	19.6億円	
	大井川事業間連携河川事業(川根本町 河道掘削)	県	1.3億円	R3新規箇所
	事業間連携砂防等事業(静岡市 口坂本集水井 他)	県	8.7億円	
道路関係	国道1号・414号 伊豆縦貫自動車道	国	101.4億円	
	国道474号 三遠南信自動車道	国	30.8億円	
	国道 1号 静岡東西道路 静岡バイパス	国	64.5億円	
	国道 1号 東駿河湾環状道路(沼津岡宮～愛鷹)	国	7.8億円	
	国道 1号 富士由比バイパス	国	0.4億円	
	国道 1号 藤枝バイパス	国	15.0億円	
	国道 1号 島田金谷バイパス	国	37.9億円	
	国道139号 富士改良	国	12.6億円	
	国道246号 裾野バイパス	国	1.0億円	
	国道 1号 静岡1号 交差点改良等(柿田川地区歩道空間改良)	国	0.5億円	R3 新規事業化
	国道 1号 静岡1号 交差点改良等(黒金町地区通行空間整備)	国	0.6億円	R3 新規事業化
	国道 1号 静岡1号 交差点改良等(丸子地区交差点改良)	国	0.6億円	R3 新規事業化
	国道 1号 静岡1号 交差点改良等(大池IC改良)	国	0.09億円	R3 新規事業化
	国道139号 静岡139号 交差点改良等(広見IC交差点改良)	国	0.9億円	R3 新規事業化
国道246号 静岡246号 交差点改良等(小山上野地区視距改良)	国	6.0億円		
国道 1号 国吉田電線共同溝	国	3.6億円		
(町)古川川尻1号線 古川橋修繕代行事業(吉田町)	国	0.8億円		
港湾関係	清水港新興津地区国際物流ターミナル整備事業	国	2.7億円	R3 新規事業化
	清水港日の出地区岸壁改良事業	国	11.7億円	
	清水港外港地区防波堤(改良)整備事業	国	1.1億円	
	清水港富士見地区岸壁改良事業	国	5.2億円	
	御前崎港女岩地区防波堤(改良)整備事業	国	4.0億円	
	御前崎港女岩地区岸壁改良事業	国	1.8億円	
	田子の浦港港口地区航路・泊地整備事業	国	2.6億円	
下田港防波堤整備事業	国	3.5億円		
海岸関係	富士海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	16.6億円	
	駿河海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	10.8億円	
	浜松五島海岸海岸保全施設整備連携事業	県	0.6億円	
	相良須々木海岸津波対策緊急事業	県	1.5億円	R3新規箇所
官庁 営繕 関係	沼津地方合同庁舎(耐震改修)	国	1.0億円	

【愛知県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R3当初配分額	
河川関係	とよがわ 豊川河川改修事業(豊橋市 暮川地区 豊川下条霞浸水被害対策事業 他)	国	4.2億円	
	やはぎがわ 矢作川河川改修事業(豊田市 渡合地区 矢作川鶴の首地区水位低下対策事業 他)	国	13.2億円	岩津地区・細川地区 R3完成予定
	しょうないがわ 庄内川河川改修事業(名古屋市 日比津地区 庄内川日比津地区河道掘削事業 他)	国	16.0億円	日比津地区 R3新規箇所
	きそがわ 木曽川下流河川改修事業(愛西市 福原地区 長良川下流部河道掘削事業 他)	国	3.3億円	
	きそがわ 木曽川上流河川改修事業(一宮市 起地区 木曽川起・小信中島堤防改築事業)	国	2.3億円	
	とよがわ 豊川総合水系環境整備事業(豊橋市、豊川市 豊川下流部地区 自然再生)	国	0.9億円	
	やはぎがわ 矢作川総合水系環境整備事業(西尾市、碧南市 矢作川河口部地区 自然再生)	国	0.6億円	
	きそがわ 木曽川総合水系環境整備事業(一宮市 東加賀野井地区 自然再生 他)	国	3.3億円	
	やはぎ 矢作ダム再生事業	国	3.3億円	
	したら 設楽ダム建設事業	国	156.7億円	
	はつたがわ 八田川・地蔵川床上浸水対策特別緊急事業(名古屋市、春日井市 排水機場整備 他)	県	9.2億円	R3完成予定
	やぎゅうがわ 柳生川大規模特定河川事業(豊橋市 地下河川整備)	県	10.6億円	
	事業間連携砂防等事業(豊根村 坂宇場砂防堰堤工 他)	県	10.4億円	
	ほりかわ 堀川事業間連携河川事業「100ミリ安心プラン」(名古屋市 護岸整備 他)	市	10.5億円	
道路関係	国道474号 三遠南信自動車道	国	66.2億円	
	国道 23号 豊橋浜松道路・名豊道路 豊橋バイパス	国	5.6億円	
	国道 23号 名豊道路 蒲郡バイパス	国	84.3億円	
	国道 23号 名豊道路 岡崎バイパス	国	1.0億円	
	国道247号 西知多道路(東海ジャンクション)	国	39.6億円	
	国道247号 西知多道路(長浦～日長)	国	1.0億円	R3 新規事業化
	国道 1号 震災橋架替(熱田伝馬橋架替)	国	4.1億円	
	国道 41号 名濃バイパス	国	20.0億円	
	国道153号 豊田北バイパス	国	6.4億円	
	国道153号 伊勢神改良	国	12.9億円	
	国道155号 豊田南バイパス	国	19.8億円	
	国道302号 名古屋環状2号線・愛知302号環境対策	国	43.8億円	
	国道 1号 愛知1号 交差点改良等(円六橋・瓦町交差点改良)	国	0.4億円	R3 新規事業化
	国道 1号 愛知1号 交差点改良等(岡崎地区歩道整備)	国	0.4億円	R3 新規事業化
	国道 1号 愛知1号 交差点改良等(中島橋西交差点改良)	国	0.09億円	R3 新規事業化
	国道 1号 愛知1号 交差点改良等(鯛浦歩道整備)	国	0.09億円	R3 新規事業化
	国道 19号 愛知19号 交差点改良等(名古屋南部自転車通行空間整備)	国	1.2億円	R3 新規事業化
国道155号 愛知155号 交差点改良等(山口地区歩道整備)	国	2.4億円		
国道302号 愛知302号 交差点改良等(香南交差点改良)	国	0.09億円	R3 新規事業化	
国道 22号 一宮三ツ井電線共同溝	国	2.9億円		
国道302号 緑地共同溝	国	6.4億円		
港湾関係	名古屋港ふ頭再編整備事業	国	123.6億円	
	名古屋港稲永ふ頭地区岸壁改良事業	国	0.8億円	
	名古屋港金城ふ頭地区岸壁改良事業	国	0.8億円	R3新規事業化
	三河港神野地区国際物流ターミナル整備事業	国	1.0億円	
	三河港神野地区岸壁改良事業	国	1.6億円	
	衣浦港外港地区防波堤(改良)整備事業	国	0.3億円	
	衣浦港武豊北ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業	国	0.4億円	
衣浦港中央ふ頭西地区岸壁改良事業	国	0.5億円		
公園関係	きそ 三川公園(国営公園整備事業) 〔フラワーパーク江南 等〕	国	3.1億円	
	名古屋第4地方合同庁舎整備等事業(新築等、PFI事業予定)	国	0億円	R3年度PFI事業契約予定
官庁関係	名古屋第1地方合同庁舎(自家発電設備改修、受変電設備改修)	国	1.1億円	
	名古屋第2地方合同庁舎(空調設備改修)	国	2.1億円	
	名古屋港湾合同庁舎(空調設備改修)	国	3.9億円	

【三重県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R3当初配分額	
河川関係	木曾川下流河川改修事業(桑名市 深谷地区 揖斐川深谷地区堤防整備事業 他)	国	10.5億円	深谷地区、中須地区、香取地区 R3新規箇所
	鈴鹿川河川改修事業(四日市市 塩浜地区 鈴鹿川下流部河道掘削事業 他)	国	5.8億円	山辺地区 R3新規箇所
	雲出川河川改修事業(松阪市 舞出地区 雲出下流部浸透対策事業 他)	国	6.8億円	舞出地区 R3完成予定 須賀瀬地区 R3新規箇所
	櫛田川河川改修事業(松阪市 清水地区 櫛田川清水堤防整備事業)	国	1.7億円	
	宮川河川改修事業(伊勢市 田尻・河崎地区 勢田川流域浸水対策緊急事業 他)	国	12.2億円	
	木曾川総合水系環境整備事業(桑名市 木曾・揖斐川河口部地区 自然再生)	国	0.1億円	
	櫛田川総合水系環境整備事業(松阪市 東黒部地区 自然再生)	国	0.1億円	
	宮川総合水系環境整備事業(玉城町 昼田地区 自然再生)	国	0.04億円	
	三滝新川大規模特定河川事業(四日市市 掘削工、護岸工 他)	県	0.2億円	R3 新規箇所
	鳥羽河内ダム建設事業	県	11.2億円	
事業間連携砂防等事業(いなべ市 坂本山腹工 他)	県	6.2億円		
道路関係	国道 42号 熊野尾鷲道路(Ⅱ期)	国	48.0億円	R3年夏頃 全線開通予定
	国道 42号 熊野道路	国	22.6億円	
	国道 42号 紀宝熊野道路	国	6.0億円	
	国道475号 東海環状自動車道	国	63.6億円	北勢～四日市 R6年度 全線開通見込み 養老～北勢 R8年度 全線開通見込み※
	国道 1号 桑名東部拡幅	国	23.6億円	
	国道 1号 北勢バイパス	国	33.8億円	
	国道 1号 近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業	国	1.0億円	R3 新規事業化
	国道 23号 鈴鹿四日市道路	国	4.2億円	
	国道 23号 中勢道路	国	38.6億円	
	国道 42号 松阪多気バイパス	国	15.3億円	
	国道 1号 三重1号 交差点改良等(羽津町交差点改良)	国	0.5億円	R3 新規事業化
	国道 1号 三重1号 交差点改良等(小古曾東三丁目交差点改良)	国	0.5億円	R3 新規事業化
	国道 23号 三重23号 交差点改良等(津南地区交通安全対策)	国	0.4億円	R3 新規事業化
	国道 25号 三重25号 交差点改良等(伊賀IC改良)	国	2.6億円	
	国道 25号 三重25号 交差点改良等(上野IC下りオンランプ改良)	国	0.3億円	R3 新規事業化
国道 42号 三重42号 交差点改良等(御浜地区自転車通行空間整備)	国	0.2億円	R3 新規事業化	
国道 1号 四日市新正電線共同溝	国	0.1億円	R3 新規事業化	
国道 23号 伊勢南電線共同溝	国	2.1億円		
港湾関係	四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業	国	7.8億円	R3 新規事業化
	四日市港霞ヶ浦南ふ頭地区岸壁改良事業	国	1.6億円	
	四日市港外港地区防波堤(改良)事業	国	1.5億円	
海岸関係	津松阪港海岸直轄海岸保全施設整備事業	国	10.6億円	
公園関係	国営木曾三川公園(国営公園整備事業) [桑名七里の渡し公園]	国	1.0億円	

※ 用地取得等が順調な場合

【長野県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R3当初配分額	
河川関係	天竜川上流河川改修事業(高森町 山吹地区 天竜川山吹地区堤防整備事業 他)	国	7.6億円	山吹地区 R3新規箇所
	天竜川総合水系環境整備事業(飯田市、駒ヶ根市、高森町、喬木村、豊丘村 天竜川地区 自然再生)	国	0.2億円	
	三峰川総合開発事業	国	6.9億円	
	天竜川水系直轄砂防事業(飯田市 小沢砂防堰堤改築 他)	国	44.8億円	
	木曾川水系直轄砂防事業(大桑村 下在砂防堰堤工群 他)	国	14.9億円	
	天竜川中流地区直轄地すべり対策事業	国	4.5億円	
道路関係	国道474号 三遠南信自動車道	国	65.8億円	
	国道 19号 藪原改良	国	8.5億円	
	国道 19号 桜沢改良	国	3.5億円	R3年秋頃 全線開通予定
	国道153号 伊駒アルプスロード	国	4.9億円	
	国道 19号 長野19号 交差点改良等(神戸地区視距改良)	国	2.7億円	
	国道 19号 長野19号 交差点改良等(奈良井川橋交差点改良)	国	0.2億円	R3 新規事業化

【山梨県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R3当初配分額
河川関係	富士山直轄砂防事業(富士吉田市、鳴沢村 北麓遊砂地工群 他)	国	4.5億円

【奈良県内の主な整備箇所】

	事業名	事業主体	R3当初配分額
道路関係	国道25号 名阪道路	国	2.5億円

- 注1) 記載事業は、国庫債務負担行為(ゼロ国債)を除く。
 注2) 県をまたぐ事業については当該県分のR3当初配分額が記載されています。
 注3) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、端数において合計とは一致しない場合があります。
 注4) 上記一覧表のほか、中部地方整備局管内の主な補助調査として、鈴鹿亀山道路等があります。

令和3年度の道路調査の見通しについて(ネットワーク)

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
 主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

静岡県	伊豆縦貫自動車道 天城湯ヶ島～河津
長野県	国道153号 飯田南道路
愛知県	名岐道路(一宮～一宮木曾川)
静岡県	国道1号 浜松バイパス※調査が進捗した後に、都市計画を進めるための調査に着手
静岡県・愛知県	浜松三ヶ日・豊橋道路(仮称) <small>※調査が進捗した後に、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査に着手</small>

概略ルート・構造の検討(計画段階評価を進めるための調査)

岐阜県	中部縦貫自動車道(平湯～日面)
-----	-----------------

名古屋港をはじめとした効率的な物流交通確保に向け、一宮西港道路及び名古屋三河道路を含む名古屋都市圏環状機能強化の検討を実施します。

国道23号(十一屋・宝神交差点間)については、交通状況を踏まえ、名古屋市と連携し、整備方針を検討するための調査を実施します。

国道25号名阪国道の必要な事故対策等も含めた、奈良・三重間のネットワークの在り方について、調査検討を実施します。

名神名阪連絡道路について、計画の具体化に向けて滋賀県及び三重県と連携して進めます。

静岡市内の交通円滑化を図るために、国道1号長沼交差点付近の、道路機能強化の検討を実施します。

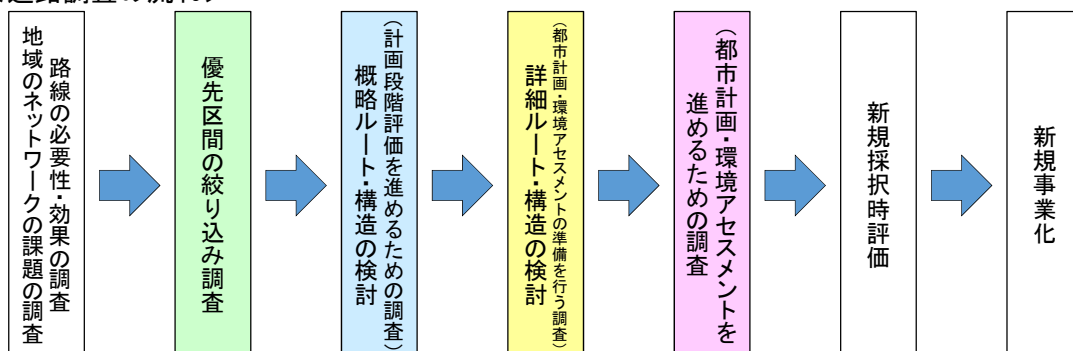
伊豆湘南道路について、計画の具体化に向けて神奈川県及び静岡県と連携して進めます。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、中京圏周辺のボトルネック箇所への集中的対策に向けた調査を推進します。

さらに、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



令和3年度の道路調査の見通しについて（交通拠点）

交通結節点事業について、一般国道1号 近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業を推進します。

また、静岡駅及び津駅周辺において交通拠点の機能強化・再編の必要性等の調査を実施します。

さらに、地域における道路交通に関する課題を把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、道路ネットワークにおける拠点の機能強化の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<交通拠点の調査の流れ>

